

青年海外協力隊

平成18年度春 要請集

平成18年3月

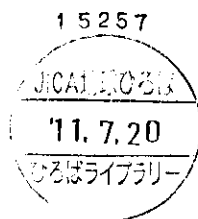
No.1

農林水産・加工部門

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/333.9
SE
18-1



青年海外協力隊 平成18年度春募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ	職種	国名	要請番号	ページ		
101	食用作物・稲作	ラオス	02805005	1	106	果樹	ボリビア	31005151	51
101	食用作物・稲作	ラオス	02805101	2	106	果樹	エクアドル	33106011	52
101	食用作物・稲作	マダガスカル	24105007	3	106	果樹	ホンジュラス	34906005	53
101	食用作物・稲作	マダガスカル	24106010	4	107	組織培養	ジンバブエ	28505128	54
101	食用作物・稲作	マラウイ	24305101	5	115	病虫害	ルワンダ	25705008	55
101	食用作物・稲作	マラウイ	24305103	6	115	病虫害	ボリビア	31006023	56
101	食用作物・稲作	モザンビーク	25105115	7	115	病虫害	エルサルバドル	33406002	57
101	食用作物・稲作	ルワンダ	25705101	8	116	土壌肥料	シリア	14606005	58
101	食用作物・稲作	ルワンダ	25705102	9	116	土壌肥料	マダガスカル	24106009	59
101	食用作物・稲作	ウガンダ	27705136	10	116	土壌肥料	エクアドル	33106004	60
101	食用作物・稲作	ボリビア	31005166	11	116	土壌肥料	パラグアイ	36405003	61
101	食用作物・稲作	ボリビア	31006012	12	116	土壌肥料	ベネズエラ	37905126	62
101	食用作物・稲作	コスタリカ	32206003	13	120	農業土木	マラウイ	24306003	63
104	花き	エチオピア	22105104	14	120	農業土木	モザンビーク	25105003	64
105	野菜	シリア	14606001	15	120	農業土木	モザンビーク	25105101	65
105	野菜	シリア	14606002	16	120	農業土木	ルワンダ	25705104	66
105	野菜	シリア	14606003	17	120	農業土木	ジンバブエ	28505109	67
105	野菜	マダガスカル	24106008	18	120	農業土木	ベネズエラ	37905127	68
105	野菜	マラウイ	24306001	19	125	農業機械	スリランカ	05205101	69
105	野菜	モザンビーク	25105001	20	125	農業機械	ルワンダ	25705105	70
105	野菜	ニジェール	25305107	21	125	農業機械	バブアニューギニア	41306001	71
105	野菜	ニジェール	25305111	22	141	家畜飼育	フィリピン	04606006	72
105	野菜	ニジェール	25306008	23	141	家畜飼育	シリア	14605001	73
105	野菜	ザンビア	28306036	24	141	家畜飼育	ボツワナ	20505101	74
105	野菜	ボリビア	31005152	25	141	家畜飼育	ガーナ	22705134	75
105	野菜	ボリビア	31005155	26	141	家畜飼育	マラウイ	24305002	76
105	野菜	ボリビア	31005159	27	141	家畜飼育	マラウイ	24305003	77
105	野菜	ボリビア	31005160	28	141	家畜飼育	マラウイ	24305004	78
105	野菜	ボリビア	31006002	29	141	家畜飼育	マラウイ	24305104	79
105	野菜	ボリビア	31006005	30	141	家畜飼育	マラウイ	24305105	80
105	野菜	ボリビア	31006011	31	141	家畜飼育	マラウイ	24306004	81
105	野菜	ドミニカ共和国	32806002	32	141	家畜飼育	マラウイ	24306005	82
105	野菜	ドミニカ共和国	32806004	33	141	家畜飼育	ブルキナファソ	27905114	83
105	野菜	ドミニカ共和国	32806008	34	141	家畜飼育	ブルキナファソ	27905121	84
105	野菜	ホンジュラス	34906006	35	141	家畜飼育	ザンビア	28306012	85
105	野菜	パラグアイ	36405104	36	141	家畜飼育	ザンビア	28306028	86
105	野菜	パラグアイ	36406001	37	141	家畜飼育	ジンバブエ	28506004	87
105	野菜	パラグアイ	36406002	38	141	家畜飼育	ボリビア	31005107	88
105	野菜	パラグアイ	36406003	39	141	家畜飼育	ボリビア	31005139	89
105	野菜	ベネズエラ	37905118	40	141	家畜飼育	ボリビア	31006006	90
105	野菜	ベネズエラ	37906002	41	141	家畜飼育	ドミニカ共和国	32806010	91
105	野菜	フィジー	40405101	42	141	家畜飼育	パラグアイ	36405106	92
105	野菜	ウズベキスタン	76305103	43	144	養蜂	パラグアイ	36405107	93
106	果樹	ラオス	02805102	44	144	養蜂	パラグアイ	36406004	94
106	果樹	シリア	14606004	45	145	家畜衛生	カンボジア	01005104	95
106	果樹	マラウイ	24305021	46	145	家畜衛生	ガーナ	22705041	96
106	果樹	マラウイ	24305022	47	145	家畜衛生	ルワンダ	25705010	97
106	果樹	マラウイ	24306002	48	145	家畜衛生	ザンビア	28306033	98
106	果樹	セネガル	26105109	49	145	家畜衛生	ボリビア	31005156	99
106	果樹	セネガル	26105111	50	145	家畜衛生	ボリビア	31005174	100

青年海外協力隊 平成18年度春募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ	職種	国名	要請番号	ページ
145 家畜衛生	ボリビア	31006020	101	153 村落開発普及員	ニカラグア	35806002	151
145 家畜衛生	ニカラグア	35806001	102	153 村落開発普及員	ニカラグア	35806003	152
145 家畜衛生	パナマ	36105107	103	153 村落開発普及員	パナマ	36106010	153
145 家畜衛生	パラグアイ	36406005	104	153 村落開発普及員	パナマ	36106012	154
151 農業協同組合	ネパール	04006007	105	153 村落開発普及員	パナマ	36106013	155
151 農業協同組合	ガーナ	22706022	106	153 村落開発普及員	パナマ	36106014	156
153 村落開発普及員	バングラデシュ	00106001	107	153 村落開発普及員	パラグアイ	36406006	157
153 村落開発普及員	バングラデシュ	00106002	108	153 村落開発普及員	パプアニューギニア	41306002	158
153 村落開発普及員	バングラデシュ	00106003	109	153 村落開発普及員	パプアニューギニア	41306003	159
153 村落開発普及員	バングラデシュ	00106012	110	153 村落開発普及員	パプアニューギニア	41306004	160
153 村落開発普及員	ラオス	02806001	111	153 村落開発普及員	パプアニューギニア	41306005	161
153 村落開発普及員	ラオス	02806002	112	153 村落開発普及員	パプアニューギニア	41306006	162
153 村落開発普及員	マレーシア	03105110	113	153 村落開発普及員	パプアニューギニア	41306007	163
153 村落開発普及員	ネパール	04006009	114	153 村落開発普及員	バヌアツ	43206002	164
153 村落開発普及員	ネパール	04006015	115	160 食品加工	ルワンダ	25705005	165
153 村落開発普及員	ネパール	04006016	116	160 食品加工	ボリビア	31005149	166
153 村落開発普及員	ネパール	04006017	117	160 食品加工	ウズベキスタン	76305003	167
153 村落開発普及員	ネパール	04006018	118	161 農畜産物加工	ボリビア	31005138	168
153 村落開発普及員	スリランカ	05205004	119	161 農畜産物加工	ボリビア	31005141	169
153 村落開発普及員	モロッコ	13106007	120	161 農畜産物加工	ボリビア	31006003	170
153 村落開発普及員	モロッコ	13106009	121	161 農畜産物加工	ベネズエラ	37905114	171
153 村落開発普及員	ガーナ	22706015	122	165 乳製品加工	ボリビア	31005148	172
153 村落開発普及員	ガーナ	22706019	123	165 乳製品加工	ボリビア	31005158	173
153 村落開発普及員	ガーナ	22706020	124	166 水産物加工	フィリピン	04606009	174
153 村落開発普及員	マダガスカル	24106011	125	170 森林経営	フィリピン	04606008	175
153 村落開発普及員	マラウイ	24306006	126	170 森林経営	コスタリカ	32206010	176
153 村落開発普及員	モザンビーク	25106003	127	174 植林	ニジェール	25305026	177
153 村落開発普及員	モザンビーク	25106004	128	174 植林	ブルキナファソ	27905113	178
153 村落開発普及員	ニジェール	25306002	129	174 植林	ボリビア	31005150	179
153 村落開発普及員	ニジェール	25306003	130	174 植林	ベネズエラ	37905102	180
153 村落開発普及員	ニジェール	25306004	131	181 漁業生産	チリ	31606010	181
153 村落開発普及員	ニジェール	25306005	132	181 漁業生産	パナマ	36105105	182
153 村落開発普及員	ニジェール	25306006	133	181 漁業生産	パプアニューギニア	41305001	183
153 村落開発普及員	ニジェール	25306007	134	181 漁業生産	バヌアツ	43205101	184
153 村落開発普及員	セネガル	26106008	135	182 養殖	ラオス	02806003	185
153 村落開発普及員	ウガンダ	27706029	136	182 養殖	ラオス	02806004	186
153 村落開発普及員	ブルキナファソ	27906001	137	182 養殖	ベトナム	05806001	187
153 村落開発普及員	ザンビア	28306029	138	182 養殖	ベナン	20305101	188
153 村落開発普及員	ザンビア	28306034	139	182 養殖	ボリビア	31005135	189
153 村落開発普及員	ベリーズ	30806002	140	182 養殖	ボリビア	31005165	190
153 村落開発普及員	ボリビア	31005136	141	182 養殖	ボリビア	31006004	191
153 村落開発普及員	ボリビア	31005146	142	182 養殖	パラグアイ	36405004	192
153 村落開発普及員	ボリビア	31006007	143	182 養殖	ベネズエラ	37905105	193
153 村落開発普及員	ボリビア	31006018	144	182 養殖	ベネズエラ	37905124	194
153 村落開発普及員	ボリビア	31006019	145	182 養殖	パプアニューギニア	41305007	195
153 村落開発普及員	ボリビア	31006022	146	182 養殖	サモア	41905103	196
153 村落開発普及員	コスタリカ	32206008	147	195 農業生産技術	ボリビア	31006017	197
153 村落開発普及員	ドミニカ共和国	32806001	148	201 陶磁器	ザンビア	28306019	198
153 村落開発普及員	エルサルバドル	33405105	149	201 陶磁器	ボリビア	31005154	199
153 村落開発普及員	ジャマイカ	35206007	150	201 陶磁器	エルサルバドル	33405007	200

青年海外協力隊 平成18年度春募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ	職種	国名	要請番号	ページ
210 竹工芸	フィリピン	04605102	201				
211 木工	エチオピア	22105020	202				
211 木工	エチオピア	22105109	203				
211 木工	ガボン	22306005	204				
211 木工	マダガスカル	24105109	205				
211 木工	マダガスカル	24106012	206				
211 木工	マラウイ	24305110	207				
211 木工	マラウイ	24305125	208				
211 木工	ウガンダ	27705128	209				
211 木工	ウガンダ	27706005	210				
211 木工	ウガンダ	27706022	211				
211 木工	ボリビア	31006001	212				
211 木工	ジャマイカ	35206003	213				
211 木工	メキシコ	35505004	214				
211 木工	ベネズエラ	37905106	215				
211 木工	フィジー	40405003	216				
211 木工	サモア	41905111	217				
211 木工	サモア	41905112	218				
220 板金	ジブチ	21805002	219				
240 溶接	エクアドル	33106014	220				
240 溶接	サモア	41906003	221				
260 繊維	カンボジア	01006018	222				
290 造船	ベネズエラ	37905125	223				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成16年12月20日

調査者名: 平井 聡

要請番号 (JL 028 - 05 - 0 - 05)		○ JV⇄SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期	
ラオス	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目 (現地公用語[ラオ 語])			1 18年度2次隊
	Rice Culture			2 18年度3次隊
			3 19年度1次隊	
大分類: 農林水産	分野: 自然環境と調和した持続的農業・農村開発	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 年 月 から		
中・小分類: 農業一般	課題: 農業開発の改善	プログラム名: 食料安全保障		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Forestry			
	2) 配属先名 (日本語) チャンパサック県農林局 (現地公用語) Department of Agriculture and Forestry in Champasack Province			
	3) 配属先所在地 首都(ビエンチャン市)から 南東 方向 800 Km チャンパサック県パクセ市 主要都市(パクセ市)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 1.9時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国立農林業研究所(NAFRI)傘下、県農林局の管轄のポンガム稲研究・種子増殖センター(Phon Ngam Seed Center)での活動となる。同センターは稲作に関する各種試験や水稲種子の増殖のほか、各郡の農林局職員や農民への技術研修を開催している。予算は県農林局とスイスの援助で設立されたLAO-IRRIにて賄われている。農林省農林局を実施機関にして予定されているJICAプロジェクト「ラオス稲種子増殖普及システム改善計画」との連携も図ることになる。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同センターではすでに水稲作に関する試験(主に土壌改良、Integrated Pest Management (IPM)、Farming System、品種適応試験)を数多く行っており、それらに関するデータは比較的豊富である。しかし、そのデータ量に対して分析能力が追いついていないのが現状であり、農民レベルに活かされているとは言い難い。そのため、試験データの分析方法の確立や農民への普及方法の改善に向けたアドバイス、農村を巡回しての現状把握や農民へのフォローアップを目的に本要請が挙げられた。また、適応品種の拡大および原原種の育成・保存に関しても将来的に取り組んでいきたいという意向を同センターは持っており、その点についてもアドバイス等が求められることになる。			
	2) 期待される具体的業務内容 1. 水稲作試験(主に土壌改良、Integrated Pest Management (IPM)、Farming System、品種適応試験)への協力 2. 水稲作試験で得られたデータ分析に対する協力 3. 農村を巡回しての実地調査 4. 郡農林局職員や農民に対して開催される技術研修の協力 5. 農村を巡回しての技術研修のフォローアップ 6. 稲種子の増殖および品質向上に対するアドバイス 7. 原原種の育成・保存技術の確立へ向けたアドバイス			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 耕耘機、等			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センターで働く職員は9名(全員30歳以上) ・センター長1名 ・副センター長1名 ・管理職1名(タイ国に留学中) ・総務2名 ・実験班3名 ・増殖班1名 その他に実習職員8名(23~30歳)		6) 業務で使用する言語 ● ラオ 語(レベル:) ○ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験3年 理由: 比較的高度な技術である種子関係の協力を行うため。 ・ 小型自動二輪以上 理由: 農民への巡回指導を行うため。			
概況	気候(亜熱帯) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JVA JVB SVA SVB)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="checkbox"/>
--------	---

記入日: 平成17年6月2日

調査者名: 平井 聡

要請番号 (JL 028 - 05 - 1 - 01)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ラオス	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 日から
	(現地公用語[ラオ 語])			2	18年度3次隊	
Food Crops & Rice Culture	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産	分野: 自然環境と調和した持続的農業・農村開発		プログラム名: 食料安全保障			
中・小分類: 農業一般	課題: 農業開発の改善					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Forestry					
	2) 配属先名 (日本語) サヤブリー県農林局 (現地公用語) Department of Agriculture and Forestry in Sayaboury Province					
	3) 配属先所在地 首都(ビエンチャン市)から 北西 方向 250 Km サヤブリー県サヤブリー市 主要都市(サヤブリー市)までの交通手段及び所要時間(飛行機とバスで約 4 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同配属先は各郡への農作物のプランテーションプラン作成や農民指導を行っており、農民へのセミナーを開催したこともある。同配属先は街中から約45kmの所に稲種子センターを保有しているため、農林省農業局を実施機関に行われるJICAプロジェクト「ラオス稲種子増殖普及システム改善計画」との連携も図ることになる。他国の援助ではスイスの援助で実施された稲作改善に係るLAO・IRRIがある。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国では稲作が主要農作物であるが、同県におけるその収穫量向上と農民への技術普及を目的に本要請が挙げられた。県農林局での業務がメインになるが、その業務を行いながら稲種子センターにも関わることで、稲種子の品質改善と県農林局での優良種子普及を効率的に行うことも期待されている。しかし、稲種子に関しては職員の経験も知識も不足しているため、今年から農林省農業局を実施機関として行われるJICAプロジェクト「ラオス稲種子増殖普及システム改善計画」との連携した活動が期待される。また、JICAプロジェクト「FORCOM」が同県の1つの郡を対象にして新水田造成等を支援しており、同対象郡での稲作指導と普及も期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・農民への稲作指導および普及活動 ・農民への稲作指導の計画と実施及びそのモニタリング ・同配属先職員の稲作に関する知識向上を目的とした協力 ・稲種子センターでの稲種子の品質向上および農民への優良種子の配布 ・JICAプロジェクト「FORCOM」の対象郡での稲作指導および普及活動 *FORCOM・・・森林管理・住民支援プロジェクト(Forest Management & Community Support) 焼畑依存の生活を送っている住民に対して、その代替生活手段を提案することを目的に実施されている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 耕耘機、コンピューター、等					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 県農林局のプランテーション課に配属になる。 課長・男性1名、副課長・女性1名、職員・男性5名 年齢層は25歳～40歳代					
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> ラオ 語 (レベル:) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概地域	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・実務経験3年以上 理由: 比較的高度な技術である種子関係の協力を行うため。 ・小型自動二輪以上 理由: 農民への巡回指導を行うため。					
	気候(亜熱帯)	気温(15~35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="radio"/>
--------	--

記入日: 平成17年1月8日

調査者名: 藍澤 ゆかり

要請番号 (JL 241 - 05 - 0 - 07)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
マダガスカル	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		SV/短期等
	指導科目 (現地公用語[仏 語])			1	18年度2次隊	年 月 から
	Riziculture			2	18年度3次隊	
	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農業		プログラム名: 農業生産性向上プログラム		
中・小分類: 農業一般		課題: 持続可能な農業開発				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農水省 (現地公用語) Ministere de l' Agroculture, de l' Elevage et la Peche					
	2) 配属先名 (日本語) ブングラヴァ地方開発支局サカイ支所 (現地公用語) Bureau de la Zone de l'Agroculture a Sakay, D.R.D.R. du Bongolava					
	3) 配属先所在地 首都(アンタナナリブ)から 南西 方向 160 Km イタシ県サカイ市 主要都市(アンタナナリブ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マダガスカル農水省は、農業・畜産・水産を担当しているが、主食の米の生産量増加が政策課題である。地方開発支局サカイ支所の年間予算は2億4千万FMG(約250万円)で、管内の農業全般を担当している。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サカイ市は標高1000M前後で陸稲の栽培がさかんな地域だが、サイクロンや病害虫の被害があるため平均収量1.5t/ha程度である。隊員は、主に水稻栽培の農民への普及活動が期待されている。 また、JICA専門家の指導を受け、隣接する種子増殖センター(米、トウモロコシ)との連携や、JICAと協力している農業試験場でのネリカ米試験栽培の支援も期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・水稻をふくむ稲栽培技術の農民への普及活動。 ・JICA専門家指導のもと、種子増殖センターおよびネリカ米試験場での試験栽培支援。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農具一式(免許は不必要)					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 支所長(男性、50代) 試験場、種子増殖センター職員(男性、数名)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語 (レベル:) <input type="radio"/> マダガスカル 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農業系) 理由: 稲作の基本技術と栽培経験が求められる。					
概地域	気候(温暖、冬季は暖房必要) 気温(5 ~ 30 °C位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="radio"/>
--------	--

記入日: 平成18年1月5日

調査者名: 藍澤 ゆかり

要請番号 (JL 241 - 06 - 0 - 10)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
マダガスカル	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2ヶ月	JOCV	
	指導科目 (現地公用語[仏 語]) Cultures Pour L'alimentation et Riziculture			1 18年度2次隊	年 月 から
				2 18年度3次隊	
		3 19年度1次隊			
大分類: 農林水産		分野: 農業		プログラム名: 農業生産性向上プログラム	
中・小分類: 農業一般		課題: 持続可能な農業開発			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農水省 (現地公用語) Ministere de l' Agroculture, de l' Elevage et de la Peche				
	2) 配属先名 (日本語) アヌシプリプリ種子増殖センター (現地公用語) C.M.S. d' Anosyboribory				
	3) 配属先所在地 首都(アンタナナリブ)から 北東 方向 270 Km アロチャマングル県アンボトラザカ市 主要都市(アンタナナリブ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マダガスカル農業・牧畜・水産省は、食糧生産全般を担当しているが、主食の米の生産量増加および生産多様化が政策課題である。アロチャ・マングル県はマダガスカル最大の湖を有し、周辺地域は大穀倉地帯となっている。農業・畜産・水産省は同地域を農業生産向上のために重視している。また、地方開発支局および種子増殖センター等に、日本の援助が入っている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 本プログラムは、マダガスカル国別援助重点分野のひとつである「農村振興プログラム」に位置づけられる。現在、農業・畜産・水産省にはJICA専門家(農業行政アドバイザー)が配置され、アロチャ湖南西地域には開発調査(アロチャ湖南西部流域管理及び農村開発計画調査)、種子増殖センターにはインドネシア人短期専門家(稲作、適正農業機械)も活躍している。また、低コスト、入手可能な材料による肥料の開発が求められている。種子増殖センターでは試験栽培はおこなっているものの、データ収集分析の方法が確立していない。このような状況の中、今後は隊員の農業・村落開発グループ要請を開始し、より効果的な協力活動を目指すため隊員要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 試験研究機関の代わりとなる農業省管轄の種子増殖センター(C.M.S.)で実施している試験栽培のデータ収集および分析により、一般農民へ普及すべき技術の検討を行う。同配属先に要請される土壤肥料隊員と連携した活動が可能。 ・現在配属先が実施している試験栽培データの収集と分析 ・実験データをもとに栽培学的な検討 ・農民への適切な栽培技術の普及 上記の活動をセンター職員とともに実施する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農業機械、データ収集用の備品(秤、水分計、メジャーなど)は現在なし、PC(日本語不可)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長 農業技術者(公務員)数名 アシスタント数名		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語 (レベル:) <input type="radio"/> マダガスカル 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学系) 理由: データ収集分析の知識が必要				
概地域	気候(温暖) 気温(10~30℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年7月11日

調査者名: 野口 拓勇

要請番号 (JL 243 - 05 - 1 - 01)		○ JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
マラウイ	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		SV/短期等
	指導科目			1	18年度2次隊	
	(現地公用語 [英 語]) Food crops & rice culture			2	18年度3次隊	
大分類: 農林水産		分野:		年 月 から		
中・小分類: 農業一般		課題:		プログラム名:		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Food security					
	2) 配属先名 (日本語) リフウ稲作試験場 (現地公用語) Lifuwu Rice Research					
	3) 配属先所在地 首都 (リロングウェ) から 東 方向 130 Km リフウ 主要都市 (サリマ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) リフウ稲作試験場は農業灌漑食糧保障省農業試験場局に属し、稲作に関してマラウイにおける適正品種の選定、病虫害に強い品種の研究、肥料に関する選定などを調査・分析し、稲作農家に推奨していく目的で設置されている。年間予算は約200万KW(日本円で約200万円)。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同試験場では病虫害に関する専門家の欠員により、優良品種の選定をはじめとする試験場の調査・分析業務が十分に実施できていない。また、試験栽培の稲が病虫害に汚染されると、適切な処置ができず、試験田の有効活用が損なわれるケースがある。このため、これらの状況改善を目的に病虫害の知識を持った隊員の要請に至った。 なお、同試験場は今後ネリカミの試験栽培を予定しているため、同品種の導入に際しても指導・助言が求められる可能性がある。 なお、前任者は2)期待される具体的業務内容中心の活動を行っている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・試験米の病気・病虫害に対する指導、助言 ・有効な農薬や殺虫剤の選定と使用方法に関する指導・助言 ・各種栽培試験に関する指導・助言 ・ネリカミの導入に関する指導・助言					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 試験場技術スタッフ10名 作業員:50名		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ チチエウ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 小型自動二輪以上 理由: 対象地域巡回のため					
現地状況	気候 (サバンナ) 気温 (15~30 ℃位)		電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 (<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年7月15日

調査者名: 山本 るみ子

要請番号(JL 243-05-1-03)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
マラウイ	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	
	指導科目 (現地公用語[英 語])			派遣希望時期
	Vegetable growing			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野:	プログラム名:		
中・小分類: 農業一般	課題:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会開発障害者省 (現地公用語) Ministry of Social Development and Person with Disabilities			
	2) 配属先名 (日本語) ムランジェ職業訓練盲校 (現地公用語) Mulanje Vocational Training Center for Blind			
	3) 配属先所在地 首都(リロングウェ)から 南東 方向 450 Km ムランジェ 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 2 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 視覚障害者の自立支援を目的として1958年に設立された職業訓練施設で、生徒数23名、講師4名が在籍している。年間予算は約200万円。他職業訓練施設のように単一の職業訓練コースを選択して学ぶのではなく、野菜栽培、手工芸、生活訓練、養鶏などの科目を広く学ぶ総合職業訓練を行っている。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 訓練時間の4~5割は野菜栽培に関する講義・実習で占められている。視覚障害者の自立支援のため、自家消費作物と換金作物の種類と収量を増やしたいが、適切な指導を行える職員がいないことから本要請となった。			
	2) 期待される具体的業務内容 視覚障害者を対象に、以下の業務を行う。 ・降水量の多いムランジェの特性を生かしたマッシュルーム栽培の指導を行う。 ・自給作物であるメイズ、キャッサバ、小豆などの収量増に関する技術指導を行う。 ・換金作物(綿花、パプリカなど)の導入に関する技術指導を行う。 ・土壌改良や現地の環境に適した有機肥料作成について技術指導を行う。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鋏、スコップ(各35個)、じょうろ(十数個)、一輪車(5台)など			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 1名、野菜指導員、52歳、実務経験28年 指導対象者は同僚(1名)、視覚障害を持つ訓練生(18~50歳)23名。		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル:) <input type="radio"/> チェワ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験2年 理由: 経験に基づいた対応が必要			
概況	気候(サバンナ) 気温(10~30 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年10月30日

調査者名: 小林 雅子

要請番号 (JL 251 - 05 - 1 - 15)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
モザンビーク	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV	SV/短期等	
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[ポルトガル語])			2	18年度3次隊	
Extensionista de Arroz	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産	分野: 農業	プログラム名: 地域農村開発プログラム				
中・小分類: 農業一般	課題: 農業・地域農村開発					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura					
	2) 配属先名 (日本語) 農業省ニコアダラ郡事務所 (現地公用語) Direcção Distrital de Agricultura de Nicoladala					
	3) 配属先所在地 首都(マプト)から北東方向 1500 Km ザンベジア州ニコアダラ 主要都市(キリマネ)までの交通手段及び所要時間(車で約 0.9時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ニコアダラ郡における農業・農村開発計画作成・監理、森林、自然保護、農民に対する行政指導、生活改善などを、巡回指導を通して行っている。総務課、経理課、畜産課、普及課、森林・自然保護課からなり、事業費年間予算は、USD13,600 (約150万円)。スタッフは、所長以下13名。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンベジア州は、モザンビーク国内における貧困州のひとつであり、州内に320万人という人口を抱えている割には開発が進んでいない。雨量や河川の豊富さなどから農業開発のポテンシャルが高く、農業を通じた開発が将来の経済発展に期待されている。この地域は、日本が最も力を入れて援助しているところでもあり、人口の大部分が農業に従事していることから、米増産に通じるNERICA米の適正品種栽培試験やその普及に協力要請があった。					
	2) 期待される具体的業務内容 ニコアダラ郡においてFAOが進めている「稲作研修学校」、地域農業普及員と連携協力し、ネリカ米(注)の適応品種の選抜、種もみの増産、農民への普及を行う。 (1) ニコアダラ地域の稲作農家に対し、ネリカ米の適応品種の選抜と増殖及び農家への普及促進を図る。 (2) FAOが主催する「稲作研修学校」に協力し地域農民の現状を把握し、生活向上に協力する。 (注)ネリカ米=New Rice for Africaの略					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ: 所長以下13名。普及員は5名 指導対象者: 普及員(高卒)、農民		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> ポルトガル語 (レベル:) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農業系) 理由: 普及員(高卒)の指導にも当たるため ・ 小型自動二輪以上 理由: 巡回指導を行うため					
概況	気候 (熱帯性気候) 気温 (20-40 ℃位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話 (<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ ES)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="radio"/>
--------	--

記入日: 平成17年7月2日

調査者名: 古市信吾

要請番号 (JL 257 - 05 - 1 - 01)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ルワンダ	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 日 から
	(現地公用語 [仏 語])			2	18年度3次隊	
Riziculture	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産		分野: 地域(農村)開発		プログラム名:		
中・小分類: 農業一般		課題:				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業動物資源省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Animal Resources					
	2) 配属先名 (日本語) ルワンダ農業開発機構 (現地公用語) Rwanda Agricultural Development Agency					
	3) 配属先所在地 首都 (キガリ市) から 方向 Km キガリ市 主要都市 () までの交通手段及び所要時間 () で約 時間					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業動物資源省はルワンダ国の農業全体の開発政策を策定し、実施を促進する。その実施にあたりルワンダ農業開発機構という新しい機関が設立される予定。同省は県、郡への技術支援、ドナーとの調整も担当する。農業動物資源省全体の2005年予算は約2億2千万円。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農業動物資源省は湿地帯開発で2020年までに66,000haの稲作作付けを目標にしている。 協力隊は将来的に機能するRADAに所属し、各稲作地帯で直接農民と接する郡及び県の農業担当者に対する技術指導、普及業務を行うことが期待されている。RADAの組織図によると支援、土壌及び水管理、種子生産、稲作開発、作物生産、病虫害予防、収穫後処理管理の7ユニットで構成される。 RADAは本省の農業開発政策を実施する機関として2005年12月までに内閣決定を受け、2006年早々に業務を開始する予定である。この機関は、本省との各ユニットと連携を維持しながら、現場への政策を推し進める。					
	2) 期待される具体的業務内容 現場での稲作農民を対象とした灌漑稲作技術に関する普及事業の実施支援。 直接農民に技術移転を行う県、郡農業技術者へ対する稲作全般に関する技術移転。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル RADA職員		6) 業務で使用する言語 ● 仏 語 (レベル:) ○ 英 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験 (稲作栽培) 理由: ・ 小型自動二輪以上 理由:					
概況	気候 (熱帯性気候) 気温 (15-35 °C位) 電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話 (<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS)

短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: ×
--------	---------------

記入日: 平成17年11月14日

調査者名: 古市・大出

要請番号 (JL 257 - 05 - 1 - 02)		○ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ルワンダ	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	指導科目 (現地公用語[仏 語])		
	Riziculture		
派遣希望時期		派遣希望時期	
		JOCV	
		SV/短期等	
		1 18年度2次隊	
		2 18年度3次隊	
		3 19年度1次隊	
大分類: 農林水産		分野: 地域(農村)開発	
中・小分類: 農業一般		課題:	
プログラム名:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治省 (現地公用語) Ministry of Local Government, Community Development and Social Affairs		
	2) 配属先名 (日本語) 労働強化地域開発プログラム (現地公用語) PDL-HIMO, Central Coordination Unit		
	3) 配属先所在地 首都(キガリ市)から北東方向 110 Km ウムタラ県ムランビ郡 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車で約1.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当プログラムは、雇用創出と住民の労働提供を通じた所得の獲得を目的とし、事業は市場へのアクセス道路整備、湿地帯開発、傾斜地のテラス転用、植林、下水道整備、女性グループの手工芸製品生産、中小企業育成、マイクロファイナンスなど多岐にわたる。カニョンバの湿地帯開発のため、4億円の灌漑施設工事が2005年6月から18ヶ月の予定で大規模に行われており、今後の稲作開発に期待の高い地域である。また、過去にはドイツの援助で食料開発プロジェクト(DED)が行われていた。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 地方分権化と湿地帯開発という国家開発事業のもと、ウムタラ県ムランビ郡のカニョンバ600haの低湿地において労働強化地域開発(HIMO)プログラム下で55haの稲作栽培が行われている。第1回目の収穫(2005年6月)では、253トンの米を生産した。今後更なる稲作振興のため、技術指導の人材が求められている。63グループ、1016人の地域農民は初めての稲作を経験したが、郡の農業担当者の稲作に関する知識・経験が不十分なため、日本稲作技術者の要請が高まっている。また当地は乾期でも水が豊かであり、二期作が可能な地域として稲作開発が望まれている。		
	2) 期待される具体的業務内容 1) 稲作に関する全般的な耕種作業 2) 水利組合と水管理 3) 生産費用と収益に関する営農 などに関する知識・技術を郡の農業担当者を重点に伝承しつつ、稲作農民の稲作栽培に関する技術と生産性向上を図る 4) 病虫害、また収穫した籾の貯蔵に対する助言		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農機具類		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ウムタラ県ムランビ郡農業担当普及員、家畜担当普及員他 計4名 地域の農民(18歳～)		
6) 業務で使用する言語 ● 仏 語 (レベル:) ○ キニャルワンダ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験(稲作栽培) 理由: 知識と経験が求められているため ・ 小型自動二輪以上 理由:		
概況	気候(熱帯性気候) 気温(15-35 ℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS)

短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年10月21日

調査者名: 佐藤幸雄、古川寛

要請番号(JL 277-05-1-36)		○ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ウガンダ	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	指導科目 (現地公用語[英 語])		
	rice culture		
派遣希望時期		年 月 日	
		JOCV	
		SV/短期等	
大分類: 農林水産		分野: 人間開発	
中・小分類: 農業一般		課題: 農業近代化の促進	
プログラム名: コメ振興プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産・水産省 (現地公用語) Ministry of Agriculture, Animal Industries and Fisheries		
	2) 配属先名 (日本語) ドホ灌漑地区 (現地公用語) Doho Irrigation Scheme		
	3) 配属先所在地 首都(カンパラ)から西方向 250 Km トロロ県ドホ 主要都市(カンパラ)までの交通手段及び所要時間(車で約4時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1940年代に稲作が始まり、1976年から1989年まで二期に分けて灌漑施設の工事が中国政府の支援にて行われた約1000haの灌漑地区である。現在は約3,500名の農民が移植栽培を行っている。予算は未公表。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 対ウガンダ国JICA国別事業実施計画案においては、協カプログラムのひとつとして「コメ振興プログラム」が設定されている。この協カプログラムは、コメの品質・付加価値・市場競争力の向上を図ることにより、就業・収入機会の増大とコメ輸入のための外貨節減に貢献することを狙う目的としている。ドホ灌漑地区には11名の職員が勤務しているが、その内農業改良普及員は2名である。その2名も農業全般を学んだ経験が少なく、当地の技術は殆ど中国政府派遣の技術者が指導したことと、彼らが経験として学んだことのみで稲が栽培されている。最近では収量も落ちてきており、この状況を打開するため高い水稻栽培技術を有する日本に技術者の派遣が要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・水稻栽培に係る基本的な指導が求められている。ただし赴任当初は指導業務を行うことは難しいため、試験田での新品種等の栽培試験等が予定されている。(当国での水稻栽培の歴史は浅く、特に同地区は中国人が去ってからは作付けしている品種も定かでない状況になっている。現在の収量は1エーカーで籾重800kgから1000kgであり、10a当り200kg程度である。耕起から収穫まで全ての作業がほとんど手作業で行われ、正条植えはほとんど行われていない。) ・有機農法の知識が求められる(化学肥料と農薬の使用率は5%程度と低いが、いもち病等の病害虫の被害は増えている。脱穀後の稲藁は焼却処分されており、籾も糠もまったく使われていない状況であるため)。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 同地から50km程度の場所にある民間企業の農場では、大型機械も使われており、更に精米機等は佐竹製作所製が使われている。		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 2名。両名とも農業単科大学卒業生であるが、同国では稲作について学べないため、彼らの知識は現場で得たものが殆どであり、経験はあるが残念ながら水稻栽培の基本的知識は非常に低い。		6) 業務で使用する言語 ● 英語 (レベル:) ○ ニヨレ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(農業系専攻) 理由: 同僚スタッフへの指導も含まれるため ・ 農民への巡回指導を行うため		
概地域	気候(亜熱帯) 気温(10 - 30 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月12日

調査者名: 光岡真希

要請番号 (JL 310 - 05 - 1 - 66)		○ JV⇄SV振替可			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ボリビア	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV	
	指導科目			1 18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[西 語])			2 18年度3次隊	
Cultivo de Arroz	3 19年度1次隊				
大分類: 農林水産	分野: 人間の安全保障		プログラム名: 地域保健ネットワーク強化		
中・小分類: 農業一般	課題: コミュニティを中心としたリプロダクティ				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 大統領府、大蔵省 (現地公用語) Ministerio de la Presidencia y Ministerio de Hacienda				
	2) 配属先名 (日本語) ベニ県 (現地公用語) Prefectura del Departamento del Beni				
	3) 配属先所在地 首都(ラパス)から 北東 方向 375 Km サン・イグナシオ・デ・モホス 主要都市(トリニダ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同県では、サン・イグナシオ・デ・モホス群も含め、現在、無償「ベニ県南部地域保健医療施設改善計画」が実施されている。この中で、同県は、一次・二次医療サービス改善と運営能力向上に取り組んでいる。また、2003年に当方の協力により同県で実施された「ベニ県保健システム強化にかかる開発調査」のフォローアップ事業も進んでいる。(注: サン・イグナシオ・デ・モホス市役所が実質的配属先となる)				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前述無償案件が実施されているサン・イグナシオ・デ・モホス群に散在しているコミュニティは僻地にあり、住民は、健康維持のために村唯一の保健センターに頼るしかない状況にあり、また、住民はほぼ自給自足の生活をしている。そのため、コミュニティにおける食料の確保は重要である。当地における主食は米であり、ほぼ全世帯(男女共)が湿地帯で稲作に従事している。現在の米の収穫高は限られており、不安定である。今後、食糧確保を確実なものにすると共に、将来的には現金収入に繋げるまで、生産性を高めたい意向である。また、ベニ県における6群では稲作プロジェクトが実施されており、サン・イグナシオ・デ・モホス郡におけるプロジェクトの立ち上げにかかる支援が期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ●サン・イグナシオ・デ・モホス郡に点在する多先住民族地区をカウンターパートと共に巡回指導 ●生産した米の流通開拓支援 ●ベニ県稲作プロジェクトサン・イグナシオ・デ・モホス郡にかかる稲作状況を報告、またそれにかかるデータ収集 ●カウンターパートに対する技術的指導、助言が求められている 				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 机、電話、コンピューター(共用)、FAX				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート (1) サン・イグナシオ・デ・モホス市役所 生産部門担当 (男性、大卒) (2) ベニ県 稲作プロジェクト担当 (男性 39歳、大卒)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: A) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大卒 理由: カウンターパートが大卒であるため ・ 実務経験 理由: 農民への直接的技術的指導が求められるため 				
概地域	気候(亜熱帯気候)	気温(20-35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="radio"/>
--------	--

記入日: 平成17年12月14日

要請番号 (JL 310 - 06 - 0 - 12)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		調査者名: アレハンドラ 中野		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[西 語])			2	18年度3次隊	
Cultivo de Arroz	3	19年度1次隊				
大分類: 保健・医療		分野: 人間の安全保障		プログラム名: 地域保健ネットワーク強化		
中・小分類: 基礎保健		課題: コミュニティーを中心としたリプロダク				

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健スポーツ省 (現地公用語) Ministerio de Salud y Deporte
	2) 配属先名 (日本語) ベニ県保健局サンホアキン市 (現地公用語) SEDES Beni (Honorable Gobierno Municipal de San Joaquin)
	3) 配属先所在地 首都(ラパス市)から 北東 方向 500 Km ベニ県サンホアキン市 主要都市(トリニダ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 6 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ベニ県保健局は、同県の保健行政において、計画、実施、評価全般に関わる。 サンホアキン市役所は、行政機関として住民に対する公共サービス一般(保健、教育、基礎衛生)、市内のインフラ整備、地域の生産振興プロジェクトの企画実施、SUMI(母子保健ユニバーサル保険)等の国家政策の適用・実施。 2005年度の市役所予算はBs.2,856,116(約38万ドル)、うち産業生産部署の予算はBs.400,000(4万9千ドル)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サンホアキン市では、現在無償「ベニ県南部地域医療保健施設改善計画」が実施中であり、一次医療施設を中心に医療器材供与や施設の増改築等において協力を行っている。これら対象地区の多くは僻地にあり、保健センターが地域医療の核となって住民の健康管理、出産ケアに対応しているが、医療機関のサービス改善による住民の医療機関へのアクセス向上、生活改善・栄養改善等による住民自身の保健・健康管理に対する意識の啓発といったソフト面への支援も求められ、直接保健に関する職種、また間接的に住民の生活・栄養改善に資する職種において、専門知識・経験をもった協力隊員による協力・支援が求められている。
	2) 期待される具体的業務内容 サンホアキン市役所産業生産部署を通じ、市周辺の米生産コミュニティを巡回し、主に下記の活動を実施する。尚、同時に要請を出している保健師隊員(サンラモン市要請)との活動上における住民の栄養改善指導等の有機的な連携も期待される。 ・コミュニティの稲作状況を調査・分析し、米の生産性を向上させるための栽培への技術的な助言・指導。 ・稲作に関し、市役所生産部署担当者への技術的な助言をするとともに、コミュニティにおいて農業普及的な技術指導者育成にも携わる。 ・サンホアキン市を中心に活動するが、隣接するサンラモン市を始め、広域的にも巡回指導活動をする。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コミュニティで使用されている農業器具
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル サンホアキン市農業技師 コミュニティの農産物生産者
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学部) もしくは農業大学校卒 理由: 技術指導実施のために最低限必要な学位 ・ 実務経験 2 年 理由: 臨機応変に指導活動を実施するために必要 ・ 稲作の専門知識 理由: 品種改良等の専門知識は特に必要としない。
------------------	---

概 地 域	気候(熱帯) 気温(20~35 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S)

短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="checkbox"/>
--------	---

記入日: 平成17年12月20日

調査者名: 小林奈緒

要請番号 (JL 322 - 06 - 0 - 03)		○ JV⇄SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
コスタリカ	職種 食用作物・稲作 (コード 101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 (現地公用語 [西 語])			1	18年度2次隊	年 月 から
	Productos Agricolas Comestibles			2	18年度3次隊	
	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産	分野: 産業振興	プログラム名: 国内産業競争力強化				
中・小分類: 農業一般	課題: 経済活動の活性化					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura y Ganadería					
	2) 配属先名 (日本語) ウパラ地域事務所 (現地公用語) Agencia de Servicios Agropecuarios de Upala					
	3) 配属先所在地 首都 (サンホセ) から 北西 方向 210 Km アラフエラ県ウパラ 主要都市 (サンホセ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 6.9時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ウパラ地区において、土地を所有していない農民に対し、農地開発庁が地権譲渡を行なった貧困農民コミュニティ及び、中小規模の農業生産者協会を対象とし、農業技術指導・普及を目的とした活動を展開している。 2004年度の農牧省予算は約3千5百万ドル。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウパラにおける主な産物及び土地利用作物は、牧畜、プラタノ、とうもろこし、陸稲、キャッサバ、フリホーレスであり、その他の高冷地野菜は気温が高いためウパラ市内では栽培できず、市外から入荷されている。また当地は貧困農村地域であり中小零細農民の食料保障、余剰流通などが現在における課題となっているため、農牧省ウパラ地域事務所は農民や主婦を対象とした技術指導・普及を行なっている。しかしながら技術不足・対象範囲・生産量などの改善が急務であることから、今般ボランティアの派遣要請となった。					
	2) 期待される具体的業務内容 - 穀物(とうもろこし、稲作、フリホーレスなど)の生産性の改善、技術指導 - 農民を対象とした食糧保障の強化 - 潜在的な可能性のある作物(オクラ、タバスコなど)の調査・開拓 - 農民所得改善を目的とした流通強化					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務所施設、コンピューター、電話					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ウパラ地域事務所長/男性/40歳代 ウパラ地域事務所スタッフ8名(男性7名、女性1名) ウパラ農業生産者協会会長/男性/40歳代 指導対象者/ウパラ地区の農民、主婦					
6) 業務で使用する言語 ● スペイン語 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大学卒 理由: 配属先のレベルに対応する為					
概況	気候 (熱帯) 気温 (27 °C位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月3日

調査者名: 黒田 修造

要請番号(JL 221 - 05 - 1 - 04)		● JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
エチオピア	職種 花き (コード 104)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ケ月
	指導科目 (現地公用語[英 語]) Floriculture		
		派遣希望時期	
		JOCV	
		SV/短期等	
		1	18年度2次隊
		2	19年度1次隊
		3	年度次隊
大分類: 農林水産		分野:	
中・小分類: 農業一般		課題:	
プログラム名:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education		
	2) 配属先名 (日本語) デブブ大学アワサカレッジ (現地公用語) Debu University, Horticulture, Faculty of Agriculture		
	3) 配属先所在地 首都(アジスアベバ)から 南 方向 280 Km アワサ 主要都市(アワサ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6-時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2003年に3つのカレッジ(農業、森林、教育、教育・保健)が統合されて総合大学となった。現在、420ヘクタールの広大な土地に寮、図書館も設置したメインキャンパスを建設中。年間予算は5千万ブル(約7億円)で他団体からの援助資金もある。農学部は9学科から成り、現在の学生数は2,500名である。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学農学部ではカレッジ統合の際に4学科が新設され9学科となり、受入学生数も増加したため、教師不足など多くの教育システム上の問題を抱えており、同要請はマンパワーとしての側面も否定できない。同学科の園芸部門では、当国で有力な輸産品として期待されている花卉栽培を行う予定で、市場性を考慮した新種の導入や大量生産の技術を求めて、隊員要請が上がった。		
	2) 期待される具体的業務内容 学部の学生への花卉学または観賞園芸学の講義が主な活動。最終的には、市場作物、市場生産化できるような体制に発展させることが求められる。また、学生への実習指導だけでなく、花卉栽培に興味を持つ同僚教師へのアドバイスも期待されている。花卉を専門とし造園学を教えられる人材が求められている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 現在、実習農場が不足しており、今後整備の予定。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師5名、年齢は30~45歳		6) 業務で使用する言語 ● 英語 語(レベル:) ○ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: ・ 実務経験3年 理由:		
概地域	気候(良好) 気温(15~30℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月28日

調査者名: シリア事務所

要請番号 (JL 146 - 06 - 0 - 01)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
シリア	職種 野菜 (コード 105)	○ 新規 ● 交替 2 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語 [アラビア 語]) Vegetables Growing		派遣希望時期
			JOCV
			SV/短期等
			1 18年度2次隊
			2 18年度3次隊
			3 19年度1次隊
大分類: 農林水産	分野: 水資源管理と効率的な利用	プログラム名: 節水灌漑農業普及	
中・小分類: 農業一般	課題: 水資源の有効活用		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業農地改革省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform		
	2) 配属先名 (日本語) ダラア灌漑試験場 (現地公用語) Daraa Irrigation Research Station		
	3) 配属先所在地 首都 (ダマスカス) から 南 方向 100 Km 主要都市 (ダラア) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 1.9時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) ダラア灌漑試験場は、農業農地改革省、自然資源研究所 (ANRR) の地方機関であり、ダラア県内の灌漑振興・研究を担っている。ダラア県は、JICA節水灌漑農業普及計画プロジェクト (技プロ) の対象県の一つであり、ダラア灌漑試験場もカウンターパート機関として同プロジェクトの活動に積極的に参加している。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は、ダラア県の灌漑農業の特徴である野菜灌漑農業の推進に努力しており、その活動は関係機関からも高く評価されている。特に、JICA節水灌漑農業普及計画プロジェクトとは共同作業を続けており、同プロジェクトが進めているダアラ県でのデモンストレーション圃場運営には、現地に居住する利点を生かして、継続的なデモ運営の一端を担っている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ダラア県の特徴である、野菜灌漑技術の向上に協力すること。 ・各農家の問題点を把握して、灌漑試験場でのサイト試験を通じて問題解決を図り、各農家に普及すること。 ・具体的な方策としては、引き続きJICA節水灌漑農業普及計画プロジェクトの現地デモ活動に協力して、現地農民とプロジェクトチーム、および試験場スタッフとの調整役を果たすことが期待される。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 野菜栽培に必要な一般的な農具、節水灌漑用機器類 (JICA節水プロジェクト使用機器以外)		
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 試験場チーフ以下、15名程度 (チーフ他、主要な職員は大卒者)		6) 業務で使用する言語 ● アラビア 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 大卒 (野菜栽培) 理由: 業務遂行上必要 ・ 野菜栽培経験 理由: 農家へ技術指導を行う上で必要		
概地域	気候 (大陸性乾燥気候) 気温 (0-40 ℃位)	電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: X
--------	---------------

記入日: 平成17年12月28日

調査者名:

要請番号 (JL 146 - 06 - 0 - 02)		○ JV⇔SV振替可							
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期						
シリア	職種 野菜 (コード 105) 指導科目 (現地公用語[アラビア 語]) Vegetables Growing	● 新規 ○ 交替 代目	<table border="1"> <tr> <td>派遣希望期間</td> <td>JOCV</td> <td>SV/短期等</td> </tr> <tr> <td>● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月</td> <td>1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊</td> <td>年 月 から</td> </tr> </table>	派遣希望期間	JOCV	SV/短期等	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年 月 から
	派遣希望期間	JOCV	SV/短期等						
	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年 月 から						
大分類: 農林水産	分野: 水資源管理と効率的な利用	プログラム名: 節水灌漑農業普及							
中・小分類: 農業一般	課題: 水資源の有効活用								
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業農地改革省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform								
	2) 配属先名 (日本語) ハマ県農業局農業普及部 (現地公用語) Hama Agricultural Directorate, Extension Department								
	3) 配属先所在地 首都(ダマスカス)から 北 方向 200 Km 主要都市(ハマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5時間)								
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ハマ県農業局農業普及部は、ハマ県農業局における農業普及を所掌する地方部局で、家畜部門、作物栽培部門などからなっている。これまでJOCVの派遣実績はないが、現在、JICA節水灌漑農業普及計画プロジェクト(技プロ)の地方カウンターパート機関のひとつとなっており、畑作物の節水灌漑推進普及を積極的に進めたいとしている。								
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、JICA節水灌漑農業普及計画プロジェクトとの連携を強く望んでいる。ハマ県は、綿花、砂糖大根、ジャガイモなど畑作物の主要産地で、畑地灌漑を前提とした栽培技術の向上が求められており、同畑作物栽培技術への普及活動協力を期待されている。								
	2) 期待される具体的業務内容 ・ハマ県の特徴である野菜灌漑技術の向上に協力すること。 ・各農家の問題点を把握して、灌漑試験場でのサイト試験を通じて問題解決を図り、各農家に普及すること。 ・具体的な方策としては、JICA節水灌漑農業普及計画プロジェクトの現地デモ活動に協力して、現地農民とプロジェクトチーム、および試験場スタッフとの調整役を果たすことが期待される。								
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 野菜栽培に必要な一般的な農具、節水灌漑用機器類(JICA節水プロジェクト使用機器以外)								
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 試験場チーフ以下、20名程度(チーフ他、主要な職員は大卒者)		6) 業務で使用する言語 ● アラビア 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (野菜栽培) 理由: 業務遂行上必要 ・ 野菜栽培経験 理由: 農家へ技術指導を行う上で必要								
概地域	気候(大陸性乾燥気候) 気温(0-40 ℃位)	電気(□ 安定 ☒ 不安定 □ なし)	水道(□ 安定 ☒ 不安定 □ なし)						
	電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 □ 不良 □ なし)								



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月22日

調査者名: シリア事務所

要請番号(JL 146 - 06- 0 - 03)		○ JV⇔SV振替可					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期			
シリア	職種 野菜 (コード 105)	●新規 ○交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		SV/短期等	
	指導科目			1	18年度2次隊		年 月 から
	(現地公用語[アラビア 語])			2	18年度3次隊		
Vegetables	3	19年度1次隊					
大分類: 農林水産		分野: 社会サービスの拡充		プログラム名: ジャバルアルホス貧困対策			
中・小分類: 農業一般		課題: 社会的弱者支援の拡充					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform						
	2) 配属先名 (日本語) UNDP村落開発プロジェクト (現地公用語) UNDP, Jabal Al-Hoss Project						
	3) 配属先所在地 首都(ダマスカス)から 北 方向 370 Km アレppo、ジャバル・アルホス村 主要都市(アレppo市内)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シリアにおける最貧困地域の一つとされるジャバル・アルホス村に、UNDPの村落開発プロジェクトが2002年から開始されており、スドクと呼ばれる小規模金融を中心に、村民の生活改善、収入増加を目的に各種職業訓練・住民の組織強化・健康教育・女性の社会参加などを実施している。						
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同プロジェクトの対象としている村落は、①少雨、地下水有、灌漑有、②少雨、地下水あり、灌漑なし、③少雨、地下水なしの3つに分類される。現状①の地域では野菜が栽培され、②、③の地域では小麦栽培、家庭菜園等が営まれている。しかしながら、大多数の住民は農業使用・栽培方法・地下水使用等の面で非効率的な生産を行っており、現金収入の少ない厳しい生活が続いている。この状況を打開するため配属先スタッフとともに効率的な農業を普及させることにより、プロジェクトの上位目標である村落住民の貧困削減に貢献することを期待され、隊員派遣要請がなされた。協力隊チーム派遣。						
	2) 期待される具体的業務内容 派遣中のシニア隊員、他隊員等と協力して主に以下の活動を行う。 ・地域内における農業の問題を見極め、地域に適した農業の普及活動等を行なう。 ・当地域に適した新しい農作物の普及から収入創出に至るまで配属先プロジェクトスタッフと協力しながら行っていく。 ・自家消費用食料分の野菜を自給自足できるよう村人に農業の指導等を行っていく。 ・肥料、農業の適切な使用方法また病虫害対策などの指導を行うことで農作物の収穫量増加を促す。						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プロジェクトマネージャー 国連ボランティア4名 農業省スタッフ15名程度 JOCV(シニア隊員、保健士、青少年活動、手工芸等)			6) 業務で使用する言語 ● アラビア 語(レベル:) ○ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 業務遂行上必要 ・ 実務経験3年程度 理由: 農家へ技術指導を行う上で必要 ・ 男性 理由: 指導対象者が男性のため						
概況	気候(大陸性乾燥気候) 気温(0-40 ℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)						



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年12月11日

調査者名: 藍澤 ゆかり

要請番号 (JL 241 - 06 - 0 - 08)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
マダガスカル	職種 野菜 (コード 105)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語[仏 語]) Culture Maraichere		<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月
			1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類:	分野: 農業	プログラム名: 農業生産性向上プログラム	
中・小分類:	課題: 持続可能な農業開発		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農水省 (現地公用語) Ministere de l' Agroculture, de l' Elevage et de la Peche		
	2) 配属先名 (日本語) アンチラベ農業機械適用訓練センター (現地公用語) CFAMA		
	3) 配属先所在地 首都(アンタナリブ)から 南 方向 60 Km バキナカラチャ県アンチラベ市 主要都市(アンタナリブ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マダガスカル農水省は、農業・畜産・水産を担当しているが、主食の米の生産量増加と農業生産多様化が政策課題である。隊員が配属される農業機械適用訓練センターは、1982年に旧ソ連の支援を受けて設立され、農民への農業技術指導をおこなっている。事務所、修理棟、穀物倉庫、農機具格納庫、官舎、宿泊棟、ガレージ、食堂。敷地、圃場を合わせ235ha。日本は無償資金協力による機材と技術協力を予定している。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アンチラベ周辺は気候と土壌に恵まれ、野菜栽培がさかんである。農民グループは、ジャガイモ、ニンジンその他の根菜類等の栽培をおこなっているが、病虫害や栽培技術の未熟さから自家消費または周辺の市場で売られているだけである。マダガスカルは野菜は小ぶりで原種に近いものがほとんどであり、品種改良がすすんでいないため、高品質の野菜は高く売れる可能性が十分ある。隊員は農業省管轄機関であるCFAMAに所属し、作目の選定や品質改善のための栽培技術に関するアドバイスをセンター内で行うほか、複数の野菜栽培グループを巡回し、上記のような栽培技術と販売の改善に取り組むことが期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・配属先において品種の導入、作物の選定、品質改善のための栽培技術講習。 ・周辺農民グループへの野菜栽培に関する品質改善技術指導、販売方法のアドバイス。 その他、アンチラベ栄養改善グループの一員として、フィールド調整員、他の医療隊員、村落開発普及員などと連携した活動も期待される。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 配属先が所有しているトラクター等農機具、修理メンテナンス工具 等。		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長、訓練担当教官6名、訓練担当助手2名、農機具開発専門職7名、農業技術者6名、記録映像技術者2名。		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語 (レベル:) <input type="radio"/> マダガスカル 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・実務経験2年 理由: 野菜栽培の基本技術と経験が求められる。		
概況	気候(温暖) 気温(10~30℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV HS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月14日

調査者名: 野口 拓勇

要請番号 (JL 243 - 06 - 0 - 01)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
マラウイ	職種 野菜 (コード 105)	○ 新規 ● 交替 4 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	指導科目 (現地公用語 [英 語]) Vegetable growing		
		派遣希望時期	
		JOCV	
		SV/短期等	
		1	19年度1次隊
		2	年度次隊
		3	年度次隊
大分類: 農林水産		分野: 食糧安全保障	
中・小分類: 農業一般		課題: 食用作物生産力向上	
プログラム名: 農村生計多様化プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Food security		
	2) 配属先名 (日本語) ロビ普及所 (現地公用語) Lobi Extention Planning Area		
	3) 配属先所在地 首都 (リロングウェ) から 南東 方向 90 Km デッサ州ロビ 主要都市 (リロングウェ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 3 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置しており、ADDの下には地方開発事務所(RDP)、さらにRDPには普及所(EPA)が設置されている。EPAではそれぞれの普及員が担当地域の農業技術指導及び統計情報の収集等、広範囲な活動をしている。JOCVは、15年度3次隊で村落開発普及員隊員、17年度1次隊で野菜隊員と果樹隊員が派遣されている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) チーム派遣「ロビ適正園芸技術普及プロジェクト(2006年1月で終了予定)」のフォローアップとして展示圃場における野菜の手入れ、周辺農民への栽培技術普及等が必要とされている。あわせて果樹隊員、村落普及隊員と連携をとりながら、農民組織の強化、活性化のための指導・助言も求められる。		
	2) 期待される具体的業務内容 対象地域の農民に対するトマト、たまねぎ、キャベツ、にんにく、葉野菜等の栽培技術に関する指導ならびに展示圃場の管理を実施する。また、あわせて病虫害や土壌肥料に関する指導・助言も求められる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 展示圃場、農具		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 専門学校卒の野菜専門員1名 (日本で長期研修の経験有り)、その他普及所スタッフ13名、展示圃場の労働者13名		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ チェワ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学系) 理由: 技術指導実施のため ・ 小型自動二輪以上 理由: 周辺地域への巡回指導実施のため		
概況	気候 (サバンナ) 気温 (10~30 ℃位) 電話 (<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ HS)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成16年12月2日

調査者名: 下藤 実

要請番号 (JL 251 - 05 - 0 - 01) JV⇔SV振替可

国名	職種/指導科目 (コード 105)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
モザンビーク	職種 野菜 指導科目 (現地公用語[ポルトガル語]) Hortaliça	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1 18年度2次隊	年 月 から
				2 18年度3次隊	
				3 19年度1次隊	
大分類: 農林水産 分野: 農業		プログラム名: 地域農村開発プログラム			
中・小分類: 農業一般		課題: 小規模農家の市場へのアクセス拡大			

1) 受入省庁名 (日本語) 農業省
(現地公用語) Ministerio de Agricultura

2) 配属先名 (日本語) イニャンバネ州局
(現地公用語) Direcção Provincial da Agricultura e Desenvolvimento Rural de Inhambane

3) 配属先所在地 首都(マプト)から北東方向 465 Km
イニャンバネ州マシシ 主要都市(イニャンバネ)までの交通手段及び所要時間(車で約1.0時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
イニャンバネ州における農業・農村開発計画作成・監理、森林、自然保護、農民に対する行政指導、生活改善など巡回指導を通して行っている。総務課、経理課、畜産課、普及課、森林・自然保護課からなり、年間予算は、USD400万(約4億円)。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
イニャンバネ州は、美しい海岸線を持ち、南ア等からの観光客が多く訪れる地域である一方、それ以外の地域は開発が遅れ、最も貧しい地域の一つとされている。農業・農村開発省では、伝統的農法で暮らす地元住民の所得向上や生活改善、女性の企業起こしなどに積極的に取り組んでいる。しかし、普及員は、中級レベル(高卒)の人が多く、新しい技術の紹介や情報の提供が進んでいないことから、新しい視点に立って貧困対策に取り組む、零細農民の組み合い活動活性化や女性の企業起こしに協力できる隊員の要請となった。

2) 期待される具体的業務内容
農業・農村開発省イニャンバネ州局では、国道1号線沿いのモルンベネ郡、ジャンガモ郡の農業生産拡大に力を入れており、女性農民の組織化に協力しているNGO団体などと連携し、所得向上、生活向上を目指している。
隊員は、乾燥地のため伝統的作物(とうもろこし、落花生、キャッサバ、米、サトウキビ)で生計を立てている農家に対し、灌漑による野菜栽培(玉ねぎ、人参、トマト、豆など)の紹介を行い、適切な水の管理と堆肥作りなどの技術を利用して野菜などの農産物が生産できるよう協力する。小規模灌漑の知識が必要。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
特になし

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
農業普及員数名(高卒、20~40歳)
指導対象者: 農業普及員、農民

6) 業務で使用する言語
● ポルトガル語(レベル:)
○ 語(レベル:)
*JVは派遣前訓練指定言語をチェック
*SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由
・ 大卒(農業系)
理由: 高卒レベルの普及員へ指導を行うため
・ 小型自動二輪以上
理由: 巡回指導を行うため

概況
気候(熱帯性気候) 気温(18-34 ℃位) 電気(安定 不安定 なし)
電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年6月22日

調査者名: 根本恵一郎

要請番号 (JL 253-05-1-07)		○ JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ニジェール	職種 野菜 (コード 105)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語 [仏 語])			2	18年度3次隊	
Culture Maraichere	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農村開発		プログラム名: 総合農村開発		
中・小分類: 農業一般		課題: 持続的な農村開発の推進				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 (現地公用語) Ministère du Développement Agricole					
	2) 配属先名 (日本語) マラディ市農業局 (現地公用語) Service Agricole de Communauté Urbain de Maradi					
	3) 配属先所在地 首都 (ニアメ) から 東 方向 630 Km マラディ 主要都市 (ニアメ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 8 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) マラディ州農業局は3つの市農業局及び6つの県農業局を管轄し、農業行政を司る。隊員はマラディ市農業局に配属される。同局は、農業技術普及、作物の保護、男性及び女性のグループ組織化、農業調査等を行っている。FAO, CARE INTERNATIONAL, WORLD VISION, UNICEF, FIDA,等が援助を行っている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 労働人口の約90%が農業に従事し、GDPの41%を占める当国において、農業収入の増加につながる農業の生産性向上は不可欠である。隊員は、マラディ市および周辺の地域において、現金収入の安定化、向上及び女性の地位向上のため、農民グループのニーズに関する調査を行い、農業技術及び農業資機材に関する適切な情報、助言を提供しながら、自立的で持続性のあるグループの管理、運営を支援する。また、任地にて活動を進めている他の支援機関、NGOの取り組み事例について調査し、運用可能性を検討する。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. マラディ市及びマラディ市近郊の村落を巡回し、同地に適し、収入の向上にむすびつく作物生産を目指し、適切な技術指導、助言等を行う。当地で栽培されている主な野菜はキャベツ・にんじん・トマト・タマネギ・じゃがいも等。また、総合農村開発の観点から、対象住民の生活向上を図るため、農外収入を得るための方策の検討等を行い、支出の削減及び現金収入の創出の方法を対象住民とともに考える。学校菜園など学校を基点とした活動の可能性もある。 2. 女性グループ等村落に存在する様々なグループのニーズに関する調査を行い、グループの管理、運営・技術面に関する適切な情報、助言を提供する。特に、女性グループに対しては、改良かまどなどの労働負荷軽減策の導入について意識して取り組む。 3. 対象地域にて活動を進めている他の支援機関、NGOの取り組み事例について調査し、運用可能性を検討する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 なし					
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル (配属先スタッフ・同僚) マラディ州農業局長: Boubacar Illiassou (男性・40代) マラディ市農業局長: Abdou Abarchi (男性・40代) (指導対象者): 地域農民			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語 (レベル:) <input type="radio"/> ハウサ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 小型自動二輪以上 理由: 村落巡回型の活動を行うため。					
概地域	気候 (サヘル) 気温 (15~45 ℃位) 電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話 (<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ HS)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B, ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月4日

調査者名: 根本恵一郎

要請番号(JL 253 - 05 - 1 - 11)		○ JV⇔SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ニジェール	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目			1 18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[仏 語]) Culture Maraichere			2 18年度3次隊	
	3 19年度1次隊				
大分類: 農林水産		分野: 農村開発		プログラム名: 総合農村開発の支援	
中・小分類: 農業一般		課題: 持続的な農村開発の推進			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 (現地公用語) Ministère du Développement Agricole				
	2) 配属先名 (日本語) ボボイ県農業局 (現地公用語) Direction Départementale du Développement Agricole de BOBOYE				
	3) 配属先所在地 首都(ニアメ)から 南東 方向 136 Km ビルニン・ガウレ 主要都市(ニアメ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ドソ州農業局は5つの県農業局を管轄し、農業行政を司る。隊員はボボイ県農業局に配属される。同局は、農業技術普及、作物の保護、男性及び女性のグループ組織化、農業調査等を行っている。国際機関としてFAOが援助を行っている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 労働人口の約90%が農業に従事し、GDPの41%を占める当国において、農業収入の増加につながる農業の生産性向上は不可欠である。隊員は、コロ市および周辺の地域において、現金収入の安定化、向上及び女性の地位向上ため、男性グループのニーズに関する調査を行い、農業技術及び農業資機材に関する適切な情報、助言を提供しながら、自立的で持続性のあるグループの管理、運営を支援する。また、任地にて活動を進めている他の支援機関、NGOの取り組み事例について調査し、運用可能性を検討する。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. ビルニン・ガウレ市及びビルニン・ガウレ市近郊の村落を巡回し、同地に適し、収入の向上にむすびつく作物生産を目指し、適切な技術指導、助言等を行う。当地で栽培されている主な野菜はキャベツ・にんじん・トマト・タマネギ等。また総合農村開発の観点から、対象住民の生活向上を画るため、農外収入を得るための方策の検討等を行い、支出の削減及び現金収入の創出の方法を対象村民とともに考える。学校菜園など学校を基点とした活動の可能性もある。 2. 女性グループ等村落に存在する様々なグループのニーズに関する調査を行い、グループの管理、運営・技術面に関する適切な情報、助言を提供する。特に、女性グループに対しては、改良かまどなどの労働負荷軽減策の導入について意識して取り組む。 3. 対象地域にて活動を進めている他の支援機関、NGOの取り組み事例について調査し、運用可能性を検討する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 なし				
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル (配属先スタッフ・同僚) ボボイ県農業局長: Gati Boubacar(男性・40代) (指導対象者): 地域農民				6) 業務で使用する言語 ● フランス 語(レベル:) ○ ザルマ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 小型自動二輪以上 理由: 村落巡回型の活動を行うため。				
概況	気候(サヘル)	気温(15~45 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV HS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年12月15日

調査者名: 根本恵一郎

要請番号(JL 253 - 06- 0 - 08)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分(長期のみ)	派遣希望期間	
ニジェール	職種 野菜 (コード 105)	○新規 ○交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[仏 語]) Culture Maraichere			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野: 農村開発	プログラム名: 総合農村開発支援		
中・小分類: 農業一般	課題: 持続的な農村開発の推進			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 (現地公用語) Ministère du Developpement Agricole			
	2) 配属先名 (日本語) コロ県農業局 (現地公用語) Direction Departementale de l'Agriculture de KOLLO			
	3) 配属先所在地 首都(ニアメ)から 南東 方向 30 Km ティラベリ州コロ県 主要都市(ニアメ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ティラベリ州農業局は1つの市農業局及び6つの県農業局を管轄し、農業行政を司る。隊員はコロ県農業局に配属される。同局は、農業技術の普及、作物の保護、男性及び女性のグループの組織化、農業調査等を行っている。国際機関としてFAOが援助を行っている。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 「カレゴロ地域生活改善グループ派遣」は、農業、保健、植林、村落開発分野の一般隊員と同隊員活動を支援するシニア隊員からなり、コロ県の約40カ村を対象に活動を行っている。一方、JICAが実施中の「みんなの学校プロジェクト(通称)」により学校運営委員会(COGES)は「機能する住民組織」として、教育分野に留まらない様々な村落開発の核としての役割が期待されている。隊員は、同組織及び村のコミュニティーと連携を図り、現金収入の確保、向上及び女性の地位向上のため、男性および女性グループのニーズに関する調査を行い、農業技術及び農業資機材に関する適切な情報、助言を提供し、自立的で持続性のあるグループの管理、運営を支援することが期待されている。			
	2) 期待される具体的業務内容 女性グループに対する野菜栽培全般に関する講習会(土づくり、播種方法、病虫害防除など)の開催、男性に対するミレット(雑穀)、ニエペ豆栽培に関する講習会の開催をカウンターパートと協力して行う。対象村落において、同地に適し、収入の向上に結びつく作物生産を目指し、適切な技術指導、助言等を行う。小学校の生産実習活動(APP)の時間を利用しての学校菜園や堆肥の作成、販売に対する指導等が求められる。また、対象地域において他の支援機関、NGOの取り組み事例について調査し、運用可能性を検討する。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル (同僚)コロ県農業局長(男性・40代) (指導対象者)対象村落の農民組織及び個別の農民		6) 業務で使用する言語 ● フランス 語(レベル:) ○ ザルマ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 小型自動二輪以上 理由: 巡回型活動のため			
概況	気候(サヘル) 気温(15-45 ℃位) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV HS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月27日

調査者名: 小松山賢哉

要請番号 (JL 283 - 06 - 0 - 36)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
ザンビア	職種 野菜 (コード 105)	○ 新規 ● 交替 2 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語[英 語]) Vegetable growing		○ 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
			1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類: 農林水産		分野: 農村開発を中心とする貧困対策への支援	
中・小分類: 農業一般		課題: 貧困地域における効果的な小農支援	
プログラム名: 孤立地域農村開発支援			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業共同組合省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Cooperative		
	2) 配属先名 (日本語) モンゼ農業学校 (現地公用語) Zambia College of Agriculture Monze		
	3) 配属先所在地 首都(ルサカ)から 南 方向 200 Km 南部州 モンゼ 主要都市(モンゼ)までの交通手段及び所要時間(バイクで約 0.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 全寮制の農業学校。2年制の学校で、講師数約20名、生徒約200名(うち女性30%)。農業関係の団体や会社への研修も行っている。学生は650haもの広大な敷地を利用して、作物・果樹栽培、家畜飼育、農業機械、農業土木の理論・実習を学んでいる。実習で収穫できた野菜や肉の販売も実施し、その一部を学校の運営にあてている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンビアにおいては、講師数の絶対的な不足に加え、HIV/AIDS等の影響により、慢性的な講師不足になっている。要請部署である畜産・作物部では、通常10名の講師が必要とされているが、海外など外部に留学に出たり、給与の遅延等により、人材が民間等に流失しているため、現在畜産部1名、作物部3名しか配属されておらず慢性的な講師不足になっている。前任隊員は作物学部門において、主に実習を中心として講義を受け持ち確実に活動を実施しており、学校から高く評価されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 作物部門では植物学、果樹、病虫害駆除、園芸等の講義、実習を行っている。 ①隊員は、主に園芸・果樹分野を担当し、生徒に対して農場での実習指導をおこなう。(可能な範囲で) ②また教室での園芸・果樹分野の講義も担当する。(可能な範囲で) ③作物部門として、トウモロコシ、キャベツ、トマト、タマネギ、オレンジ、バナナ等の栽培も行っており、栽培管理、その指導も行う。 ④通常の講義実習以外に、小規模農家および民間企業から委託された職員への各種研修等の支援も期待されている。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 トラクター1台、一般農具		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 講師作物部3名・畜産部1名。農業学校卒業者 40歳代から50歳代。 指導対象者: 高等学校を卒業した学生。18歳から20歳代後半。		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 学校で教員として指導するためには最低限必要 ・ 小型自動二輪以上 理由: 学校が町の郊外にあり、生活上單車が必要		
概況	気候(サバンナ) 気温(5-35 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (JOCV 日青 SV ES)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月11日

調査者名: ルイス 福島

要請番号 (JL 310 - 05 - 1 - 52)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 野菜 (コード 105)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		SV/短期等
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語 [西 語])			2	18年度3次隊	
Horticultura	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産	分野: 人間の安全保障	プログラム名: 貧困地域飲料水供給プログラム				
中・小分類: 畜産加工	課題: 安全かつ持続的な飲料水供給					
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業省 (現地公用語) Ministerio de Servicios y Obras Publicas					
	2) 配属先名 (日本語) サンタクルス県インフラ局 (現地公用語) Direccion de Infraestructura, Prefectura de Santa Cruz					
	3) 配属先所在地 首都(ラパス市)から 東 方向 800 Km サンタクルス県サンタクルス市 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンタクルス県インフラ局では、現在、直接県内の地下水開発分野の取り組みを行っている。当該分野での技術的な上位機関は公共事業省基礎サービス次官室であり、「基礎サービスセクター戦略の県レベルでの実施」「セクター開発に資するプロジェクトの企画」「セクター規範・規則の県レベルにおける適用」などの役割を担っている。県地下水開発向けの年間予算(2005年)は、US\$624,101。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同県を対象としたわが国無償「第一次地方地下水開発計画」では、1998~2002年の5年間で県内に149本の井戸掘削を行ったが、2004年7月の段階で施設建設が行われていた井戸は全体の93%であった。同県では比較的井戸掘削と施設建設が連動して行われているといえるが、持続的な水利用をより促進するため、わが国は主にソフト面での協力を行ってきた。しかし、衛生教育や水管理委員会の運営向上だけでは持続的な水利用は行えず、各村落の生産性向上も視野に入れた広範な協力が求められている。上記プロジェクトの対象村落では特にトマト、にんじん、ラディッシュなどの野菜栽培に携わる村落も多く、現在の生産技術・栽培技術を向上することで持続的な水利用を実現することを目指す。					
	2) 期待される具体的業務内容 -サンタクルス県内の地下水開発計画対象村落や対象市における当該分野の取り組み状況に係るベースラインサーベイ -県基礎サービス課や市、村落の対象者ごとの実習計画の策定及び実施 -実習成果のモニタリング・フォローアップを通じた当該分野の技術向上に関するボリビア側への提言 上述の業務内容は2005年7月時点において想定されるものであり、派遣時点では若干の状況変化もあり得る。このため、ボランティア精神を発揮して、同分野のあらゆる課題について状況に応じた活動が求められる。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター、机、インターネット、FAX、電話					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル サンタクルス県インフラ局の地下水開発担当職員は50名。指導対象者には、地元の小規模農家や市の担当者も含まれる。					
	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学) 理由: 当該分野の専門知識を求められるため					
	気候(熱帯) 気温(28 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月11日

調査者名: ルイス 福島

要請番号(JL 310 - 05- 1 - 55)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 野菜 (コード 105)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[西 語])			2	18年度3次隊	
Horticultura	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産		分野: 人間の安全保障		プログラム名: 貧困地域飲料水供給プログラム		
中・小分類: 畜産加工		課題: 安全かつ持続的な飲料水供給				

1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業省
 (現地公用語) Ministerio de Servicios y Obras Publicas

2) 配属先名 (日本語) オルロ県基礎サービス課
 (現地公用語) Unidad de Saneamiento Basico y Vivienda, Prefectura de Oruro

3) 配属先所在地 首都(ラパス市)から 南 方向 250 Km
 オルロ県オルロ市 主要都市(オルロ市)までの交通手段及び所要時間()で約 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 県基礎サービス課(通称:UNASBVI)は、組織的には各県インフラ局の一部を構成するが、技術的には公共事業省基礎サービス次官室の下部組織と位置づけられており、「基礎サービスセクター戦略の県レベルでの実施」「セクター開発に資するプロジェクトの企画」「セクター規範・規則の県レベルにおける適用」などの役割を担っている。UNASBVI Oruroの年間予算(2005年)はUS\$233,341。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同県を対象としたわが国無償「第二次地方地下水開発計画」では、2001~2005年の5年間で県内に74本井戸掘削を行う予定(これまでに67本掘削済)であるが、2004年7月の段階で施設建設が行われていた井戸は全体の19%であった。かかる状況に対し、個別派遣専門家やローカルNGOを通じ、わが国は協力村落において安全かつ持続的な水利用が可能となるよう2003年以降、主にソフト面での協力を行ってきたが、衛生教育や水管理委員会の運営向上だけでは持続的な水利用は行えず、各村落の生産性向上も視野に入れた広範な協力が求められている。上記プロジェクトの対象村落ではじゃがいもや玉ねぎなどの野菜栽培に携わる村落が多く、確かな生産技術・栽培技術の習得に対する要望が高い。

2) 期待される具体的業務内容
 -オルロ県内の地下水開発計画対象村落や対象市における当該分野の取り組み状況に係るベースラインサーベイ
 -県基礎サービス課や市、村落の対象者ごとの実習計画の策定及び実施
 -実習成果のモニタリング・フォローアップを通じた当該分野の技術向上に関するボリビア側への提言
 上述の業務内容は2005年7月時点において想定されるものであり、派遣時点では若干の状況変化もあり得る。このため、ボランティア精神を発揮して、同分野のあらゆる課題について状況に応じた活動が求められる。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 コンピューター、机、インターネット、FAX、電話

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 オルロ県基礎サービス課職員は26名。指導対象者には、地元の小規模農家や市の担当者も含まれる。

6) 業務で使用する言語
 西 語 (レベル: B)
 語 (レベル:)
 *JVは派遣前訓練指定言語をチェック
 *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 ・大卒(農学)
 理由: 当該分野の専門知識を求められるため

概地域
 気候(高山) 気温(-5~20 °C位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV ES)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月11日

調査者名: ルイス 福島

要請番号(JL 310 - 05 - 1 - 59)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
ボリビア	職種 野菜 (コード 105)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	
	指導科目		1 18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[西 語]) Horticultura		2 18年度3次隊	
3 19年度1次隊				
大分類: 農林水産	分野: 人間の安全保障	プログラム名: 貧困地域飲料水供給プログラム		
中・小分類: 畜産加工	課題: 安全かつ持続的な飲料水供給			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業省 (現地公用語) Ministerio de Servicios y Obras Publicas			
	2) 配属先名 (日本語) ポトシ県基礎サービス課 (現地公用語) Unidad de Saneamiento Basico y Vivienda, Prefectura de Potosi			
	3) 配属先所在地 首都(ラパス市)から 南 方向 500 Km ポトシ県ポトシ市 主要都市(ポトシ市)までの交通手段及び所要時間(で約 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 県基礎サービス課(通称: UNASBVI)は、組織的には各県インフラ局の一部を構成するが、技術的には公共事業省基礎サービス次官室の下部組織と位置づけられており、「基礎サービスセクター戦略の県レベルでの実施」「セクター開発に資するプロジェクトの企画」「セクター規範・規則の県レベルにおける適用」などの役割を担っている。UNASBVI Potosiの年間予算はUS\$227,502。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同県を対象としたわが国無償「第3次地方地下水開発計画」は、昨年度開始され、5ヵ年計画により県内の村落に井戸を掘削中である。かかる状況に対し、個別派遣専門家派遣等を通じ、わが国は協力村落において安全かつ持続的な水利用が可能となるよう2004年から主にソフト面での協力を行ってきた。衛生教育や水管理委員会の運営向上だけでは持続的な水利用は行えず、各村落の生産性向上も視野に入れた広範な協力が求められている。上記プロジェクトの対象村落では、ジャガイモ、ソラマメが生産される村落も多く、現在の農業の生産性を向上することで村落住民の現金収入向上に寄与し、持続的な井戸水利用を実現することを目指す。			
	2) 期待される具体的業務内容 -ポトシ県内の地下水開発計画対象村落や対象市における当該分野の取り組み状況に係るベースラインサーベイ -県基礎サービス課や市、村落の対象者ごとの実習計画の策定及び実施 -実習成果のモニタリング・フォローアップを通じた当該分野の技術向上に関するボリビア側への提言 上述の業務内容は2005年7月時点において想定されるものであり、派遣時点では若干の状況変化もあり得る。このため、ボランティア精神を発揮して、同分野のあらゆる課題について状況に応じた活動が求められる。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター、机、インターネット、FAX、電話			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ポトシ県基礎サービス課職員は15名。指導対象者には、地元の小規模農家や市の担当者も含まれる。		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル: B) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験 理由: 現場での指導が求められるため			
概地域	気候(高地温暖) 気温(18 °C位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月6日

調査者名: 光岡真希

要請番号 (JL 310 - 05 - 1 - 60)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
ボリビア	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語 [西 語]) Cultivo de Vegetales			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野: 人間の安全保障	プログラム名: 地域保健ネットワーク強化		
中・小分類: 農業一般	課題: リプロダクティブヘルス			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 大統領府、大蔵省 (現地公用語) Ministerio de Presidencia y Ministerio de Hacienda			
	2) 配属先名 (日本語) ベニ県 (現地公用語) Prefectura de Beni			
	3) 配属先所在地 首都 (ラパス) から 北東 方向 375 Km ベニ県サン・イグナシオ・デ・モホス 主要都市 (トリニダ市) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 4 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) ベニ県では「ベニ県南部地域保健医療施設改善計画」が実施されている。この中で、同県は、一次・二次医療サービス改善と運営能力向上に取り組んでいる。また、2003年に当方の協力により同県で実施された「ベニ県保健システム強化にかかる開発調査」のフォローアップ事業も進んでいる。(注:ベニ県庁は本件にかかる要請調整機関であり、実質的配属先はサン・イグナシオ・デ・モホス市役所となる)			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サン・イグナシオ・デ・モホス市では、現在、無償「ベニ県南部地域医療保健施設改善計画」が実施中であり、一次医療施設を中心に医療器材供与や施設の増築・建て替え等において協力している。これら無償対象地区の多くは僻地にあり、住民は健康の維持や出産ケアを村の唯一の保健センターに頼るしかない状況にある。その中でも、住民の栄養改善が大きな課題となっているが、村落の住民はほぼ自給自足の生活をしており、主に村の女性たちが従事している家庭菜園での野菜作り(レタス、トマト、ピーマン等)を支援することが求められている。また、料理や加工を通して、野菜をより良く住民が摂取できるような工夫も必要となる。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・サン・イグナシオ・デ・モホス郡に点在する多先住民族地域をカウンターパートと共に巡回し、家庭菜園を中心とした野菜作りにおける技術的指導を行う ・各コミュニティでの野菜作りにかかるデータ収集、問題分析、市役所・ベニ県への提言が求められる ・サン・イグナシオ・デ・モホス市役所をにおいて各コミュニティにかかる野菜作りの包括的支援体制確立を啓蒙する ・栄養改善にかかる実態調査と講習会を実施する ・現地にあった野菜の料理法と加工法の改善を行う			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 机、電話、コンピューター(共用)、FAX			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート ベニ県生産プロジェクト担当 (大卒、男性、39歳)		6) 業務で使用する言語 ● ス페인 語 (レベル: A) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験 理由: 現場で実務を通じた指導が求められるため			
概況	気候 (亜熱帯気候) 気温 (20-35 ℃位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ HS)

短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月13日

調査者名: カロス・オモヤ 山本

要請番号 (JL 310 - 06 - 0 - 02)		○ JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2年 ○ 1年 ○ 2ヶ月	JOCV		SV/短期等
	指導科目			1	18年度2次隊	
	(現地公用語[西 語]) Cultivo de Vegetales			2	18年度3次隊	
			3	19年度1次隊	年 月 から	
大分類: 鉱工業		分野: 社会開発		プログラム名: 先住民貧困層の生計維持		
中・小分類: パルプ・木材製品		課題: 生計維持				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) コンセプション市役所 (現地公用語) Municipio de Concepcion					
	2) 配属先名 (日本語) チキタノ森林保護基金 (現地公用語) Fundacion para Conservacion del Bosque Chiquitano (FCBC)					
	3) 配属先所在地 首都(ラパス)から 東 方向 800 Km サンタクルス市内 主要都市()までの交通手段及び所要時間() 時間					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンタクルス県チキタニア地方の環境保全をテーマに、2000年より地域住民の生活向上、地域社会の生産性向上等に焦点を当て活動を行っている非営利団体。Fundacion Amigos de la Naturaleza, Fundacion Amigos de Museo de Historia Natural Noel Kempff Mercado, Wildlife Conservation Society, Missouri Botanical Garden等の他の環境団体と、Shell, Enronの石油会社より支援を受けている。年間予算は2004年で1,159,714ドル、2005年で987.412ドル。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 地域住民が第一次生産品として森林資源を乱伐し安価で販売することにより、チキタニアの原生林は深刻な問題を抱えている。これを受け、環境保護の視点より、伐採量を減らすために地域住民へ他の生活手段を提案・指導するプロジェクトが計画された。同プロジェクトは職業訓練を通じた地域若年層への自己雇用促進、地域社会の生産性向上も目的としている。ボランティアの活動場所はサンタクルス市より車で4時間半のコンセプション村となる。JICAはボランティア派遣を、FCBCはプロジェクト基礎調査、管理、評価、また、訓練修了者へのマイクロクレジット提供を、INFOCAL(職業訓練校)は訓練場所と訓練コースの運営を、それぞれ提供することになっている。木工、養殖、農畜産物加工が同時派遣となる予定。					
	2) 期待される具体的業務内容 FCBC、INFOCALコンセプション(職業訓練校)と協力し以下の活動を行う。 ・INFOCAL内で、INFOCALの学生と農場労働者を対象にした、野菜栽培の基礎訓練コースの計画・実施。 ・上記活動に続き、販売可能なレベルの野菜栽培訓練コースを計画・実施する。またこれらのコースの評価。 ・上記訓練修了者で野菜販売を開始する者に対し、商品の品質管理やパッケージのアドバイスをを行う。 ・現地の状況を鑑み、有機肥料の作り方やその他必要と思われる技術移転をコースに盛り込むことが求められる。 ・その他、関連業務に関してボランティア精神を発揮し積極的に関与することが望ましい。また、状況変化等について柔軟に対応する必要がある。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル FCBC プロジェクト責任者 男性 50代 FCBC プロジェクトコーディネーター 男性 40代 INFOCALコンセプション 責任者 男性 20代後半			6) 業務で使用する言語 ● ス페인 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 野菜栽培の実務経験者 理由: 指導者となり得る経験が必要					
概 況 地 域	気候(亜熱帯) 気温(15~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月13日

調査者名: カルロス・オモヤ 山本

要請番号 (JL 310 - 06 - 0 - 05)		○ JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		SV/短期等 年 月 から
	指導科目			1 18年度2次隊	2 18年度3次隊	
	(現地公用語[西 語]) Cultivo de Vegetales			3 19年度1次隊		
大分類: 農林水産		分野: 社会開発		プログラム名: 先住民貧困層の生計維持		
中・小分類: 農業一般		課題: 生計維持				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ヨタラ市役所 (現地公用語) Municipio de Yotara					
	2) 配属先名 (日本語) ベラ職業訓練センター (現地公用語) Centro de Formación Integral Rural "VERA"					
	3) 配属先所在地 首都(ラパス)から 南東 方向 550 Km ヨタラ 主要都市(スクレ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 30時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) チュキサカ県3村の青少年を対象に、中等教育課程に野菜、畜産、乳製品加工、木工、金属加工、縫製、コンピューター等の職業訓練を組み込み指導を行っている教会系NGO。ヨタラ村センターには120名収容可能な寮もあり、同センター卒業後はサンフランシスコ・ハビエル大学との提携による同大学への進学も可能。同時に各コミュニティで『村民の生活向上プロジェクト』を実施し、簡易井戸、有機肥料、改良かまど等の指導も行っている。年間予算					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同センターは野菜栽培の指導を学生対象に行っているだけでなく、センターの生産品として地域住民へ野菜販売も行い独立採算制を目指しているが、その生産性は技術不足により高いとは言えない。これを受けて、現地スタッフへの栽培技術指導を通じ、学生への指導内容の質改善と共にセンターの生産性を高めるため、初代協力隊員の要請があがった。					
	2) 期待される具体的業務内容 同職業センターにて以下の活動を行う。 ・適切で効率的な野菜栽培について現地スタッフへ技術指導を行う。 ・上記活動と関連させ、学生への指導内容の改善を行う。 ・同センターが各コミュニティにて実施している『生活向上プロジェクト』と協力し、簡単な家庭菜園について等のアイデアを提供する。 ・その他、関連業務に関してボランティア精神を発揮し積極的に関与することが望ましい。また、状況変化等について柔軟に対応する必要がある。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート 農業科責任者 農業技術者 大卒 30代 同僚 農業技術者 3名 大卒 25歳~35歳		6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 野菜栽培実務経験3年 理由: 指導者となり得る経験が必要					
概地域	気候(高地温暖) 気温(10~30 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月14日

調査者名: アレハンドラ 中野

要請番号 (JL 310 - 06 - 0 - 11)		○ JV⇔SV振替可		調査者名: アレハンドラ 中野	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ボリビア	職種 野菜 (コード 105) 指導科目 (現地公用語[西 語]) Cultivo de Vegetales	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	SV/短期等
	1			18年度2次隊	年 月 から
	2			18年度3次隊	
3	19年度1次隊				
大分類: 保健・医療		分野: 人間の安全保障		プログラム名: 地域保健ネットワーク強化	
中・小分類: 基礎保健		課題: コミュニティーを中心としたリプロダク			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健スポーツ省 (現地公用語) Ministerio de Salud y Deporte				
	2) 配属先名 (日本語) ペニ県保健局サンホアキン市 (現地公用語) SEDES Beni (Honorable Gobierno Municipal de San Joaquin)				
	3) 配属先所在地 首都(ラパス市)から 北東 方向 500 Km ペニ県サンホアキン市 主要都市(トリニダ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 6 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ペニ県保健局は、同県の保健行政において、計画、実施、評価全般に関わる。 サンホアキン市役所は、行政機関として住民に対する公共サービス一般(保健、教育、基礎衛生)、市内のインフラ整備、地域の生産振興プロジェクトの企画実施、SUMI(母子保健ユニバーサル保険)等の国家政策の適用・実施。 2005年度の市役所予算はBs.2,856,116(約38万ドル)、うち産業生産部署の予算はBs.400,000(4万9千ドル)。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) サンホアキン市では、現在無償「ペニ県南部地域医療保健施設改善計画」が実施中であり、一次医療施設を中心に医療器材供与や施設の増改築等において協力を行っている。これら対象地区の多くは僻地にあり、保健センターが地域医療の核となって住民の健康管理、出産ケアに対応しているが、医療機関のサービス改善による住民の医療機関へのアクセス向上、生活改善・栄養改善等による住民自身の保健・健康管理に対する意識の啓発といったソフト面への支援も求められ、直接保健に関する職種、また間接的に住民の生活・栄養改善に資する職種において、専門知識・経験をもった協力隊員による協力・支援が求められている。				
	2) 期待される具体的業務内容 サンホアキン市役所産業生産部署を通じ、市内及び周辺のコミュニティーを巡回し、住民の将来的な現金収入向上を視野に入れつつも、まず家庭消費を目的とした家庭栽培レベルの短期野菜栽培を指導・普及する。尚、同時に要請を出している保健師隊員(サンラモン市要請)との活動上における住民の栄養改善指導等の有機的な連携も期待される。 ・コミュニティの現状把握、野菜栽培の技術向上指導、及び地域の気候風土にあう短期的に収穫可能な作物の調査。 ・住民を対象とした家庭菜園レベルの短期野菜の栽培技術指導、普及。講習会の企画・実施。 ・農業普及委員の育成、又は農業普及住民グループの組織化。将来的には野菜出荷による現金収入向上も狙う。 ・サンホアキン市を中心に活動するが、隣接するサンラモン市を始め、広域的にも巡回指導活動をする。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コミュニティで使用されている農業器具				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル サンホアキン市農業技師 コミュニティの農産物生産者		6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学部) 又は 理由: 技術指導実施のために最低限必要な学位 ・ 農業大学校卒 理由: 技術指導実施のために最低限必要な学位 ・ 実務経験 2年 理由: 臨機応変に指導活動を実施するために必要 ・ 短期野菜の知識 理由: 指導・普及活動を行うために必要な知識				
概況	気候(熱帯) 気温(20~35 ℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし) 電話(□インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(☒安定 □不安定 □なし)				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年12月9日

調査者名: 田中順子調整員

要請番号 (JL 328 - 06 - 0 - 02)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ドミニカ共和国	職種 野菜 (コード 105) 指導科目 (現地公用語[西 語]) Cultivo de Vegetales	○新規 ●交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	派遣希望時期		
大分類: 農林水産		分野: 農業・牧畜・水産	
中・小分類: 農業一般		課題: 貧困農村における農民収入向上	
プログラム名: 地方農村貧困撲滅プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧林研究所(農務省) (現地公用語) Instituto Dominicano de Investigaciones Agropecuarias y Forestales(IDIAF)		
	2) 配属先名 (日本語) 北部中央事務所 (現地公用語) Centro Norte de Instituto Agropecuarias y Forestales		
	3) 配属先所在地 首都(サント・ドミンゴ)から 北西 方向 125 Km ラ・ペーガ市 主要都市(ラ・ペーガ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農務省が管轄する研究機関として、農牧業・林業に関し、安全な農作物の生産や農業技術の向上、土壌保全、森林保全に係る研修を実施している。中央事務所の下に北部中央事務所・家畜生産中央事務所・南部中央事務所がある。北部中央事務所は4つの研究支部と5つの研究農場を所有している。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域はドミニカ共和国有数の農業生産地である。「環境保全農業プロジェクト」(技プロ)に連携するボランティアグループとして当該地域での持続的農業普及に寄与し、同地域がほかの農牧地域のモデルになることが期待されており、JICAボランティアの協力が今後も不可欠であることから今回の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・既に派遣されているSVやJOCVとともに「環境保全型農業プロジェクト」と連携するボランティアとしてプロジェクトスタッフである農務省の普及員に対する技術支援を行う。 ・具体的には展示圃場での持続的農法による野菜栽培の実践による普及員・小規模農家への技術指導、普及員・農民への栽培技術研修、流通改善への取り組み等が計画されている。 ・協力隊員はこれらの幅広い協力をプロジェクトを通じて実施することになり、チームとしての協力活動も必要となる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般農機具		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プロジェクト所属の農務省普及員		6) 業務で使用する言語 ● ス페인 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 野菜栽培経験 1年以上 理由: 野菜栽培指導を行う為		
概地域	気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~30 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV HS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年12月9日

調査者名: 田中順子調整員

要請番号(JL 328 - 06 - 0 - 04)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ドミニカ共和国	職種 野菜 (コード 105)	○新規 ○交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		SV/短期等
	指導科目 (現地公用語[西 語]) Cultivo de Vegetales			1 18年度3次隊	2 19年度1次隊	3 年度次隊
大分類: 農林水産		分野: 農業・牧畜・水産		プログラム名: 地方農村貧困撲滅プログラム		
中・小分類: 農業一般		課題: 貧困農村における農民の収入向上				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧林研究所(農務省) (現地公用語) Instituto Dominicano de Investigaciones Agropecuarias y Forestales(IDIAF)					
	2) 配属先名 (日本語) 北部中央事務所 (現地公用語) Centro Norte de Instituto Agropecuarias y Forestales					
	3) 配属先所在地 首都(サント・ドミンゴ)から 北西 方向 125 Km ラ・ペーガ市 主要都市(ラ・ペーガ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農務省が管轄する研究機関として、農牧業・林業に関し、安全な農作物の生産や農業技術の向上、土壌保全、森林保全に係る研修を実施している。中央事務所の下に北部中央事務所・家畜生産中央事務所・南部中央事務所がある。北部中央事務所は4つの研究支部と5つの研究農場を所有している。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域はドミニカ共和国有数の農業生産地である。「環境保全農業プロジェクト」(技プロ)に連携するボランティアグループとして当該地域での持続的農業普及に寄与し、同地域がほかの農牧地域のモデルになることが期待されており、JICAボランティアの協力が今後も不可欠であることから今回の要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・既に派遣されているSVやJOCVとともに「環境保全型農業プロジェクト」と連携するボランティアとしてプロジェクトスタッフである農務省の普及員に対する技術支援を行う。 ・具体的には展示圃場での持続的農法による野菜栽培の実践による普及員・小規模農家への技術指導、普及員・農民への栽培技術研修、流通改善への取り組み等が計画されている。 ・協力隊員はこれらの幅広い協力をプロジェクトを通じて実施することになり、チームとしての協力活動も必要となる。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般農機具					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プロジェクト所属の農務省普及員				6) 業務で使用する言語 ● ス페인 語(レベル:) ○ 語(レベル:) *IVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 野菜栽培経験1年以上 理由: 野菜栽培指導を行う為					
概況	気候(亜熱帯海洋性) 気温(30 ℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS)

短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年12月11日

調査者名: 小宮山幸子調整員

要請番号(JL 328 - 06 - 0 - 08)		○ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ドミニカ共和国	職種 野菜 (コード 105)	○ 新規 ● 交替 3 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	指導科目 (現地公用語[西 語]) Cultivo de Vegetales		
		派遣希望時期	
		JOCV	
		SV/短期等	
		1	18年度2次隊
		2	18年度3次隊
		3	19年度1次隊
大分類: 農林水産		分野: 農業	
中・小分類: 畜産		課題: 村落開発支援	
プログラム名: 地方農村貧困撲滅プログラム			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Secretaria de Estado de Educacion		
	2) 配属先名 (日本語) ロジョーラ農業学校 (現地公用語) Instituto Agronomico San Ignacio Loyola		
	3) 配属先所在地 首都(サントドミンゴ)から 北西 方向 300 Km ダハボン市 主要都市(ダハボン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1946年創立のカトリック系の4年制公立農業学校(日本の農業高校レベルに相当)。卒業生には大学編入資格が与えられる。2004年度の学生数は約190名で、教員数は18名。約20haの敷地を有し、同国主要作物(米、調理用バナナ、キャッサバ)ほか、家畜飼育、果樹等の実習も授業の一環として行われている。年間予算は約2,400,000ペソ(約80,000米ドル 2004年度)。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の主要産業である農業従事者を育成するため、校内の敷地を利用した各種農業実習が週6時間実施されている。指導要綱等は確立されているものの、さらなる実習授業の充実をはかるため、新たな視点を持った助言者が望まれており、今回の申請に至った。また、現在は家畜飼育隊員が活動中であり、家畜の糞尿を肥料として有効利用することなどで野菜隊員と家畜飼育隊員の連携も求められている。また、同校においては過去2代の野菜協力隊員派遣実績があり、協力隊員への評価が非常に高い。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・カウンターパートとなる野菜・作物実習担当教師とともに学生を対象とした実習授業を行う ・学生対象の座学授業をカウンターパートとともに ・家畜の糞尿を肥料として有効使用し、野菜・作物の実習と連携する ・同国において関心が高まっている有機農業についての基礎知識をカウンターパートに指導する		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校圃場、農機具一式(鋤、草刈り刀等)		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ: 野菜・作物実習担当教師(男性、2名、40代)、家畜実習担当教師(男性、1名、40代、獣医師資格所有)、 指導対象者: 2年間農業の基礎知識を学んだ3年生及び4年生		
	6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 教諭免許 (農業) 理由: 農業高校において学生への指導を行うため ・ 野菜栽培経験2年以上 理由: 農業高校において実習を担当するため		
	気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~30 ℃位) 電気(□ 安定 ☒ 不安定 □ なし) 電話(☒ インターネット可 ☒ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(□ 安定 ☒ 不安定 □ なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV HS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成18年1月6日

調査者名: 青木佳子

要請番号 (JL 349 - 06 - 0 - 06)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
ホンジュラス	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[西 語]) FRUITICULTURA			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野: 持続的地域開発	プログラム名: 地方における貧困削減		
中・小分類: 農業一般	課題: 農村部貧困削減			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Secretaria de Agricultura y Ganaderia			
	2) 配属先名 (日本語) 農業研究財団 (現地公用語) Fundacion Hondurena de Investigacion Agricola(FHIA)			
	3) 配属先所在地 首都(テグシガルパ)から 方向 200 Km インティブカ県 エスペランサ 主要都市(テグシガルパ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.5時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 小中規模農家に対し、野菜と果樹の栽培に係る技術移転、および研究を行っている非営利団体。農牧省を通して日本政府からの援助を受けている。年間予算はUS\$175,000。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国における野菜、果樹は輸入によるものが多い。貧困農家は地域の特性に適合しないにもかかわらず、トウモロコシと豆のみを栽培している現実がある。そのため、土壌と気候に適合した野菜の栽培技術を習得し、収穫する事が出来れば、収入向上につながる。貧困削減のために農産物生産向上を目指し、隊員が要請された。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・小中規模農家(75軒)を対象とした栽培技術の紹介(ブロッコリ、レタス、カリフラワー、人参、ビート等)及び実践を行い、普及を目的に巡回指導を行う(インティブカ県だけでなくラパス県、レンピーラ県へも巡回指導を行う可能性あり)。 ・地域の特性を考慮した新しい野菜の栽培を提案し、その栽培方法を紹介する(平均気温16℃、最低気温-2℃、最高気温30℃、標高1680m)。 ・年間を通して栽培できる野菜の提案および実践を行う。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル FHIA技師 果樹専門、コーディネーター(経験15年) 男性 45歳 FHIA技師 果樹専門(経験4年) 男性 31歳 FHIA技師 野菜専門(経験5年) 男性 30歳 FHIA技師 野菜専門(経験2年) 男性 26歳		6) 業務で使用する言語 ● ス페인 語(レベル:) ○ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒(農学系) 理由: 同僚と同等の資格			
概況	気候(亜熱帯) 気温(5-30 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S)

短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ◎

記入日: 平成17年6月15日

調査者名: 池田 博司

要請番号 (JL 364 - 05 - 1 - 04)		<input type="radio"/> JV⇄SV振替可		派遣希望時期 <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 2年 <input checked="" type="radio"/> 交替 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 3代目 <input type="radio"/> ヶ月	
国名 パラグアイ	職種 / 指導科目 職種 野菜 (コード 105) 指導科目 (現地公用語 [西 語]) Cultivo de Vegetales	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期 JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 年 月 2 18年度3次隊 から 3 19年度1次隊	
大分類: 農林水産		分野: 貧困層への社会サービスの充実と収入の維持向上		プログラム名: 農業生産技術の教育、農産物の多様化・付加価値化支援、大土地所有者・日系農協等大農協との連携を通じた小農の自立化支援	
中・小分類: 農業一般		課題: 貧困層(小農)の生産基盤・技術の強化と基礎的サービスの充実			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura y Ganaderia				
	2) 配属先名 (日本語) サンイシドロラブラドル農業学校 (現地公用語) Escuela Agraria San Isidro Labrador				
	3) 配属先所在地 首都(アスンシオン市)から南西方向 400 Km ニエンブク県ピラール市 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バスで約5時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サン・イシドロ・ラブラドル農業学校は、農牧省及びピラール教育社会福祉財団の支援により運営され、2005年度予算は約230万円である。農業畜産技術の授業科目には、15~18歳までの男子生徒約35名(約8割が寮に寄宿)があり、午前が農作業実習、午後に授業を行っている。学校運営費の一部は、午前中の実習で得られた生産物を朝市での販売による収入で賄っている。また、同校には、野菜隊員(15年度3次隊)と家政隊員(15年度2次隊)が派遣されている。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 野菜摂取量が少ない当国においてピラール市は、地域住民の健康維持への配慮により、店頭に並べられる野菜種類が増加するなど、野菜の需要が徐々に高まりつつある。一方、同校でも、生徒に対する野菜栽培指導に重点を置きつつあり、これまで2代にわたって野菜隊員を派遣したことにより、栽培技術は向上しているものの、引き続き年間を通じた野菜収穫技術向上への支援が求められている。また、同僚技師が新たな技術習得に意欲的であり、配属先の強い要望もあることから後任要請がなされた。				
	2) 期待される具体的業務内容 ①現在、面積0.85haの畑地に、レタス、玉ネギ、ナス、ピーマン、トマト、キャベツ、ホウレン草、キュウリなどを栽培しており、これらの作物の収量増加、及び年間を通じた野菜栽培技術の向上を、同僚技師及び生徒とともに目指す。 ②また、前任者は新たにブロッコリー、大根及び白菜などの栽培を指導しており、新たな作物栽培についても検討する。 ③生徒へ基本的な農業技術指導、また、同僚技師へ有機栽培や害虫駆除についての指導が望まれている。なお、実習生徒は通常約5名程度である。 ④基本的な活動時間は、月曜日から金曜日の7:00~11:00、13:00~17:00、土曜日は7:00~10:00までである。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般農具(スコップ、鍬など)、灌水用ポンプ、手動式農業噴霧器、寒冷紗0.2ha				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(農業畜産教諭) 男性30歳 農業畜産技師 1名(男性30歳、2005年農業畜産学士取得) 職員(農業部門) 5名(男性5名、平均40歳) 講師 15名(男性8名、女性7名 平均35歳)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 西 語 (レベル:) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 男子校であるため。 ・ 実務経験 理由: 実践的な活動が求められるため。 ・ 大卒(農学系) 理由: 同僚教師(農業技師)へ指導するため。				
概況域	気候(亜熱帯性) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年12月14日

要請番号 (JL 364 - 06 - 0 - 01)		○ JV⇔SV振替可		調査者名: 森田 音佳		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[西 語])			2	18年度3次隊	
Artes de Hogar	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産	分野: 貧困層への社会サービスの充実と収入の増進向上	プログラム名: 小農自立化支援				
中・小分類: 農業一般	課題: 農産物の多様化・付加価値化による所得向上					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) NGO					
	(現地公用語) Organización No Gubernamental					
	2) 配属先名 (日本語) トバティ財団					
	(現地公用語) Fundación TOBATI					
配属先概要	3) 配属先所在地 首都(アスンシオン)から 東 方向 70 Km					
	コルディジェラ県トバティ市 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5時間)					
配属先概要	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)					
	トバティ財団は、トバティ市の総合的な発展を目指し1980年代に創設された住民組織で、1997年にNGOとして登録された。当財団が目指すところは、自給自足型農業と手工芸品生産の二つの収入源確保を支援することで貧しい人々の生活レベルの向上を図ることである。具体的な活動は、地域の貧しい人々を対象としたパラグアイ伝統手工芸品の作成技術指導や生産・商品化・販売に係る助言、さらに自給自足を目的とした農業の普及等。年間予算は約22,500ドルである。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)					
	トバティ財団は、手工芸生産を生業とする人々に対する技術指導、商品化・販売に向けた助言等収入源の確保に向けた支援活動を主たる活動として行っている。一方、最近から自給自足を目的とした農業普及等、農業分野での支援活動を開始したが、指導者が確保されていない状況にある。こうした背景から、今回の野菜隊員の派遣要請に至った。なお、2006年2月よりトバティ市内の50の手工芸生産家庭を対象とした米州開発銀行の日本特別基金(Japan Special Fund:約2000万円)によるプロジェクトが開始されることとなっているため、手工芸品作成の技術指導にあたる人材として今回の募集において家政隊員が別途、派遣要請がされており、同隊員との連携が期待されている。					
	2) 期待される具体的業務内容					
要請概要	①トバティ財団が支援している市内に点在する小規模農家を対象として、野菜栽培技術の巡回指導を行い、栽培方法の改善、生産量の増加および品質の改善を図る。					
	②安定した収入を確保するために、農業経営の観点から基本的な営農方法を指導する。 ③環境に配慮した、有機物の土壌還元による土作りと輪作を取り入れた有機農法の指導を行う。 ④栽培作物は、トマト、イチゴ、ピーマン、キュウリ、タマネギ、ニンジン、ネギ、フダンソウなど。 ⑤同NGOに配属予定の家政隊員と緊密に連携し、地域住民の生活改善を目指した活動を共に行う。					
要請概要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	鋤、スコップ、レーキ等の基本的な農具					
要請概要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル			6) 業務で使用する言語		
	カウンターパート: 30代女性(コーディネーター) 各組合のリーダー 指導対象: 地域農民 主に80家族 20歳~60歳			● ス페인 語(レベル:) ○ グアラニー 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由					
	・ 野菜栽培経験1年 理由: 広範にわたる技術指導が必要とされるため。 ・ 小型自動二輪以上 理由: 近隣農家の巡回指導に必須であるため。					
概況	気候(亜熱帯) 気温(2-40 ℃位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS)
 短期 (○ JVA ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年12月19日

調査者名: 菊池 明雄

要請番号 (JL 364 - 06 - 0 - 02)		○ JV⇔SV振替可		調査者名: 菊池 明雄		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 野菜 (コード 105)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		
	指導科目 野菜			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[西 語]) Cultivo de Vegetales			2	18年度3次隊	
	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産		分野: 貧困層への社会サービスの充実と収入の向上		プログラム名: 小農自立化支援		
中・小分類: 農業一般		課題: 農産物の多様化・付加価値化による所得向上				
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura y Ganaderia					
	2) 配属先名 (日本語) CEA農業学校 (現地公用語) Escuela Agrícola Cofederación Educativa Agropecuaria					
	3) 配属先所在地 首都(アスンシオン)から南東方向 415 Km イタプア県ピリャビスタ市 主要都市(エンカルナシオン)までの交通手段及び所要時間(バスで約1時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) CEA農業学校は、地域のドイツ系住民の要請に応えピリャビスタ市を中心とした周辺地域の働きかけにより1987年に創立された私立の農業高等学校である。年間予算は約47,000米ドルで、授業料、地域企業からの寄付、農牧省からの助成等により賄われており、運営状況は概ね良好である。敷地内には10ヘクタールの圃場を有する。過去に、食品加工隊員と野菜隊員が同校で活動していた。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校は食品加工と併せ、野菜栽培についても重点科目と位置づけしており、多くの品種の野菜栽培について指導しているが、現在、野菜部門の教職員は1名しかおらず、しかも、他の職務を兼任しているため指導体制が弱い状況にある。今後、人材を確保し野菜栽培分野における体制を強化、それに伴う技術力も併せて高めたいとしており、今回の要請に至った。なお、同校にはラパス、ピラポ両移住地の日系人も通っていること、また過去の援助により草の根無償資金協力、協力隊派遣が実施されていることから日本に対する信頼が厚く、ボランティアが活動する条件が整っている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ①敷地内にある10ヘクタールの圃場を活用し、生徒に対し野菜全般にわたる基本的な栽培方法を指導する。 ②寒冷紗を利用した育苗舎で、苗の生産、取扱い方法を指導する。 ③同校ではパラグアイの気候・天候に適し、かつ年間を通じて栽培、貯蔵、販売ができる野菜の導入を模索しており、その作物の選定や栽培等に関するアドバイスを行う。 ④同校の校長は、校内の野菜圃場を地域住民に開放し、特に貧しい小規模農家に野菜栽培の普及を図ることで支援を行っていきたいとしているが、その活動の企画・運営のサポートも期待されている。 ⑤当国が輸入に頼っているにんにくや玉葱の通年出荷を希望しており、これらの作物の栽培経験があればなお良い。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・配属先スタッフ: 校長(野菜部門担当)40代の他、農業部門の及び食品加工部門の教師、獣医師、一般科目の教員、事務局要員等、総勢16名。 ・生徒: 76名(16歳~25歳、男女)				6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・野菜栽培経験者 理由: 野菜栽培の実技指導が主な業務であるため。					
概 況	気候(亜熱帯性)	気温(0~40℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成17年12月14日

調査者名: 森田 音佳

要請番号 (JL 364 - 06 - 0 - 03)		○ JV⇔SV振替可		派遣希望時期	
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	JOCV	SV/短期等
パラグアイ	職種 野菜 (コード 105) 指導科目 (現地公用語 [西 語]) Cultivo de Vegetales	○ 新規 ● 交替 3 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年 月 から
	大分類: 農林水産 中・小分類: 農業一般	分野: 貧困層への社会サービスの充実と収入の維持向上 課題: 農産物の多機化・付加価値化による所得向上	プログラム名: 小農自立化支援		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 (現地公用語) Ministerio de Educación y Cultura				
	2) 配属先名 (日本語) ヘネラルアキノ国立高校 (現地公用語) Colegio Nacional General Ealizardo Aquino				
	3) 配属先所在地 首都 (アスンシオン) から 北東 方向 320 Km サンペドロ県ヘネラル・E・アキノ市 主要都市 (アスンシオン) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) ヘネラルアキノ国立高校は教育文化省管轄下にある高等学校で、教員総数は54名、学生数(年齢が日本の中学生・高校生に相当する)は約600名在籍している。同校は午前・午後・夜間の三部制となっており、学科は普通科、農業科、建築科、商業科が設置されている。農業科は午前の部のみで、在籍生徒数は40名であり、学校全体の年間予算は約815ドル程度である。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ヘネラルアキノ国立高校の農業科は2000年に創設された。これまで2代にわたり野菜隊員が派遣されており、農業科主任であるカウンターパートとともに、校内の圃場での実習を中心とした学生への野菜栽培の技術指導、および近隣農家への巡回指導を行ってきた。しかし、圃場が安定して運営されるまでには引き続き関連する技術指導・支援が必要であり、今回の派遣要請に至った。また、2006年より高校レベルの学生を対象とした「環境に関するプロジェクト」が開始される予定となっており、同校ではこの分野の指導が出来る人材がいないため、派遣隊員は環境保全に関する広い知識を有し、それをベースとした循環型農業や土壌保全方法等を指導することも期待されている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ① 農業科の学生を対象に、校内にある圃場を活用した野菜栽培技術の指導を行う。(栽培作物は、トマト、ピーマン、ナス、タマネギ、ニンジン、ビート、フダンソウ、キュウリ、花卉苗等) ② 販売生産と採算性の向上等基本的な営農指導を行い、圃場の安定運営に繋げる。 ③ 学生を対象とした環境・土壌保全に関するプロジェクトにおいて、有機物の土壌還元による土作りと輪作を取り入れた作付体制の指導等を実施し、環境・土壌保全の重要性を理解させる。 ④ 近隣の農家に対し、上記の②～③について同様の指導を行う。 ⑤ 有機廃棄物を利用した堆肥づくり、緑肥作物の利用法、自然農業づくりなど実践的な有機栽培法の指導を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鍬、スコップ、レーキ等の基本的な農具				
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル カウンターパート 33歳 男性 農業技師 指導対象: 農業科学生 40名 15歳～18歳 地域農民 120名 20歳～60歳		6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル:) ○ グアラニー 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 大卒 (農業系) 理由: カウンターパートが大学卒であるため。 ・ 指導経験1年 理由: 幅広い知識と経験が必要とされるため。				
概地域	気候 (亜熱帯) 気温 (2-40 ℃位) 電話 (□ インターネット可 ● 通話可 □ 不良 □ なし)		電気 (● 安定 □ 不安定 □ なし) 水道 (● 安定 □ 不安定 □ なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年7月11日

調査者名: 一柳直仁

要請番号 (JL 379 - 05 - 1 - 18)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
ベネズエラ	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語[西 語])		● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	Cultivo de Vegetales		派遣希望時期
			JOCV SV/短期等
			1 19年度1次隊 2 18年度3次隊 3 年度次隊
			年 月 日から
大分類: 農林水産	分野: 社会セクター	プログラム名: 人間開発支援	
中・小分類: 農業一般	課題: BHNの充足		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 企画・開発省 (現地公用語) Ministerio de Planificacion y Desarrollo		
	2) 配属先名 (日本語) NGO信仰と喜び東北部事務所 (現地公用語) NGO Fe y Alegria, Zona Oriente Norte		
	3) 配属先所在地 首都(カラカス)から 南東 方向 518 Km サン・ホワキン村 主要都市(エル・ティグレ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 本NGOは人的資源開発に関して中南米14カ国で活動しており、ベネズエラでは年間約10万人の能力開発に携わっている。配属先である東北部事務所はモナガス州マツリン市に位置し、モナガス、アンソアテギ、スクレの各州を管轄し、これらの地域コミュニティ、州政府、民間を問わず、主に青少年を対象に教育関連の支援活動を展開している。年間の予算は全体でUS\$4,253,926。地域事務所自体はUS\$371,380。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エル・ティグレ市の北60Kmほどの乾燥地にある農業指導を主とした中等学校。12歳から6年間の学校で、生徒数は280人、教師は13人。男女共学。敷地は環境天然資源省からの借地で、12ヘクタールの広さがある。しかし現在使えるのは1ヘクタールのみで他は保護林となっているが、これらの一部を使えるように許可申請している。学校用、農業実習用には天水の他に大きな井戸があり、水には困っていない。現在栽培しているのは、きゅうり、トマト、にんにく、その他の野菜、バナナ、パッションフルーツ、キャッサバ、サトウキビ等。現在学校自体に特に問題はないが、今後の発展を考え、農業にかかる革新を希望している。具体的には農産物の品質向上、地域にあった特産品の開発等で、学校教育を通して地域の活性化		
	2) 期待される具体的業務内容 具体的業務内容 ・ 地域の特性を考慮し、日本の進んだ農業の紹介・指導(有機農業等) ・ 現地教師と共に教室内活動の補助、実習指導 ・ 現地に合った農産物及び農業技術の提案 ・ 農業にかかる地域コミュニティへの可能な活動展開		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農業指導に必要な機材、学校設備、執務室、パソコン、井戸、水タンク、鶏舎		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 東北部事務所: 事務所長、男性、55歳 東北部事務所: 業務調整、学士、女性、35歳 学校長、女性、45歳 教員調整役、女性、43歳		6) 業務で使用する言語 ● ス페인語 語(レベル:) ○ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学部) 理由: 高校での指導 ・ 実務経験2年 理由: 即戦力を期待		
概地域	気候(熱帯) 気温(29 °C位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS)

短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成18年1月1日

調査者名: 松岡武史

要請番号 (JL 379 - 06 - 0 - 02)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
ベネズエラ	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語 [西 語]) Cultivo de Vegetales			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野: 社会セクター	プログラム名: BHN充足のための人間開発支援プログラム		
中・小分類: 農業一般	課題: 貧困対策及び地域社会開発促進に資するBHNの充足の充足			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 企画・開発省 (現地公用語) Ministerio de Planificacion y Desarrollo			
	2) 配属先名 (日本語) UNAMOS (現地公用語) Asociacion Civil Unamos al Mundo por la Vida(UNAMOS)			
	3) 配属先所在地 首都(カラカス)から 南東 方向 50 Km ミランダ州、エル・アティージョ市 主要都市(カラカス)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 貧困層の子弟やストリート・チルドレンの健全な育成を目指し、寄与することを目的として2004年11月にNGOの Funda Unamos al Mundoによって開設された施設である。7~17歳の青少年に対し、日本の小学校にあたる一般教育及び将来の自立のための特別クラスを運営している(陶磁器、コンピューター、スポーツ等) 予算: US\$ 1,129,235			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当施設には貧困層に生まれ、迫害、さらには家庭内暴力などの劣悪な環境の中で育ってきた子供達に対し、衣食住、教育を提供している。現在、将来の自立のための特別クラスを運営している(陶磁器、コンピューター、スポーツ等)なか、敷地内のできる野菜の栽培を新たな特別クラスとして計画しているが、農業(野菜作り)に精通した人材が施設にはいないため。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・7歳~17歳の青少年ならびにNGO職員に対し、簡単な野菜栽培を座学・実習をとおして指導する。 ・対象となる野菜栽培は、特に限定はしていないが、土壌・気候に合うもので比較的簡単なものから始め、徐々に種類を増やしていく(例: たまねぎ、にんじん、とまと、きゅうりなど) ・栽培の収穫状況、青少年達の理解度に合わせて農産物生産性向上のための手法も施設職員と協力し紹介していく。 (収穫できた野菜は、施設食として利用したり、市場での売り上げも期待している) ・最終的に上記の内容を施設職員だけで実施できるように指導・助言する。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 簡単な農作業に必要な機材一式はある。また、作業状況に合わせ今後、施設側でそろえていく。			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 施設長、大卒、38歳、男性 夫婦の管理指導責任者、高卒、30歳 業務調整員、大卒、32歳、女性 業務補助員、21~50歳、40名		6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 野菜栽培経験 理由: 野菜栽培の指導上必要。			
概地域	気候(亜熱帯) 気温(15~25℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV ES)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月15日

調査者名: 浅井 浩史

要請番号(JL 404 - 05- 1- 01)		○ JV⇔SV振替可		調査者名: 浅井 浩史	
国名	職種/指導科目 (コード 105)	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
				JOCV	SV/短期等
フィジー	職種 野菜 指導科目 (現地公用語[英 語]) Vegetable growing	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	18年度2次隊
	2			18年度3次隊	
	3			19年度1次隊	
大分類: 農林水産		分野: 教育		プログラム名: 職業訓練強化プログラム	
中・小分類: 農業一般		課題: 技術及び職業訓練教育の強化			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 (現地公用語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ナンディ高校 (現地公用語) Nadi College				
	3) 配属先所在地 首都(スヴァ)から 西 方向 190 Km ナンディ 主要都市(ナンディ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国際空港のあるナンディに位置し、普通科(Form3-7: 日本の中・高校生)及び職業訓練コース(農業科、自動車整備科、観光接待科)を有する高等学校。普通科生徒数約700名、職業訓練コース生徒約100名。JICAボランティアの受入れ実績はなし。同校農業科は教育省からパイロットスクールとして認定を受け、AusAID(豪州援助実施機関)より約F\$22,000(約150万円)の援助を受け水耕栽培用施設を購入、設置した。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校は、職業訓練コースを普通科をドロップアウトした生徒の受入れといった消極的なものと捉えてはならず、専門的技術を身に付けて卒業させ、高等教育機関への進学あるいは関連企業への就職を目標に生徒を教育している。前述のとおり農業科は教育省からパイロットスクールとして認定を受け、3コースの中でも特に力を入れて授業の充実を図っている。フィジー技術学院(専門学校)のカリキュラム(ステージⅠ及びⅡ)をカバーしており、日本人ボランティアの派遣により更なるレベルの向上を図るべく今回の要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 職業訓練コース農業科履修生徒への授業を担当する。理論・実習ともに期待されているが、特に実習面での期待が大きい。実習作物として、トマト、ナス、レタス、マメ類、パニラ、とうもろこし、さとうきび、ノニなどが挙げられる。現在は、AusAIDから援助を受けた水耕栽培施設を用いてレタスの栽培を試験的に行なっており、今後本格的な栽培へ移行することを希望しているため、水耕栽培に詳しいことが望まれている。 また、配属先は有機農業にも関心を持っており、これらのアドバイスができればなおよい。 なお、収穫物は主としてナンディの市場へ出荷されている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 小型耕運機、基本農具(じょうろ、スコップ、クワ、フォーク)、噴霧器、水耕栽培用施設、苗床(遮光ネットハウス)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 普通科農業科学(Agriculture Science)担当教諭2名(20歳代) 職業訓練コース農業科担当教諭1名(30歳代)		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験3年程度 理由: カウンターパートの経験を考慮 ・				
概況	気候(熱帯海洋性) 気温(20-32 °C位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月15日

調査者名: 馬田 英樹

要請番号(JL 763-05-1-03)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
ウズベキスタン	職種 野菜 (コード 105)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[ウズベク 語])			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野: 社会セクターの再構築	プログラム名: 教育改革		
中・小分類: 農業一般	課題: 教育改革			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等専門教育省 (現地公用語) Ministry of Higher and Secondary Specialized Education			
	2) 配属先名 (日本語) タシケント農業カレッジ (現地公用語) Tashkent Agro Commercial Professional College			
	3) 配属先所在地 首都(タシケント)から 方向 Km タシケント州タシケント市 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.8時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2005年で創立80周年を迎える職業訓練校。3年制で、農業機械、農業経営、病虫害予防、食品加工、会計、融資など全部で12コースが設置されている。生徒は約1100人、教師は約80名。ADBからの援助による農業機械の実習装置や韓国から援助によるコンピュータールーム(PC12台×2部屋)などがある。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウズベキスタンの農業は、ソ連邦時代から続くモノカルチャー経済の影響から、農産物は綿花と小麦に大きく偏っており、多様性に乏しい。したがって、農業カレッジのカリキュラムにも多様な農産物の栽培方法を教えるクラスがない。そこで、実際の栽培技術を実習として指導できるボランティアを要請することとなった。特にビニールハウスでの野菜栽培に関する知識と技術を求めている。			
	2) 期待される具体的業務内容 1. ビニールハウスによる野菜栽培を中心に、栽培実習の授業を担当する。 2. 現地の気候にあった野菜や果物を提案し、可能な範囲で、実際にその栽培方法を紹介する。 3. 必要に応じて、現地教師の座学にも参加し、技術的な助言を行う。 4. 学生たちは日本に対する興味が非常に強いので、日本語の教授や日本文化の紹介などを求められるだろう。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(男性、経済学博士、50歳代)を含め約80名の教師 生徒たちは大体17~20歳くらいの男女		6) 業務で使用する言語 ● ウズベク 語 (レベル: B) ○ 英語 語 (レベル: B) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 実務経験 理由: 実習を担当することになるため ・ 大卒 理由: 学校で授業を担当するには大卒の資格が必要			
概地域	気候(大陸性) 気温(-10~40 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="checkbox"/> X
--------	---

記入日: 平成17年6月16日

調査者名: 平井 聡

要請番号 (JL 028 - 05 - 1 - 02)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ラオス	職種 果樹 (コード 106) 指導科目 (現地公用語[ラオ 語]) Fruit Growing	○ 新規 ● 交替 4 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	派遣希望時期		
		JOCV	
		SV/短期等	
		1	18年度2次隊
		2	18年度3次隊
		3	19年度1次隊
大分類: 農林水産		分野: 自然環境と調和した持続的農業・農村開発	
中・小分類: 農業一般		課題: 農業開発の改善	
プログラム名: 食料安全保障			
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Forestry		
	2) 配属先名 (日本語) ナーケー農業学校 (現地公用語) Nakae Agriculture Training School in Savannakhet Province		
	3) 配属先所在地 首都(ビエンチャン市)から 南東 方向 500 Km サバナケット県カンタブリー市 主要都市(サバナケット県カンタブリー市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 8 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1978年に開校した農業学校。約100名の高卒者を対象に果樹・野菜・きのこの栽培指導および畜産・水産の技術指導を行っている。現在は1年制であるが、今年10月より3年制となり短期大学レベルに移行することが決まっている。2年次には農家での実習もカリキュラムに含まれている。また、今年5月からは農民や農林局職員を対象にした園芸科・畜産科・灌漑課を兼ね備えた1.5年制コース(約50名)も開始された。同配属先には協力隊員以外に外国の援助は入っていない。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) これまで同配属先では3代にわたり協力隊員が活動しており、着実に成果をあげている。しかし、果樹栽培には時間が掛かることもあり、その知識の定着や栽培技術指導において継続した協力が必要である。また、2005年10月には短期大学レベルに移行するため、さらなる授業内容の充実およびその指導力強化が求められている。ラオス人教員に対して熱帯果樹栽培に係る指導・協力を行うことになるが、実際に生徒への指導をラオス人教員とともに行うこともある。また、果樹栽培に関するテキスト作成に係る協力や日本での果樹栽培技術の紹介も期待されている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・熱帯果樹栽培(マンゴー・パパイヤ・ドラゴンフルーツ・バナナ・ライム・サボジラ・リュウガンの7種)に係る指導・協力 ・各種苗木栽培に係る指導・協力および生産 ・農村を巡回しながらの1.5年制コースに参加した農民へのフォロー ・テキスト作成に係る協力 ・栽培技術(剪定、接木等)の紹介および実践指導		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 苗床、草刈機、リヤカー等 畜産水産関係では牛・豚・鶏を保有し、養殖池も4つ保有している。		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長(男性・58歳) 副校長(男性2名・40歳代) 教職員は25歳～40歳代の常勤18名(協力隊員含む)と臨時14名を合わせた32名(男性・26名、女性・6名)。臨時講師には県農林局職員10名が含まれている。		6) 業務で使用する言語 ● ラオ 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 小型自動二輪以上 理由: 農民への巡回指導を行うため。 ・ 農学部卒又は大学校卒 理由: 現職教員を指導するため。		
概況	気候(亜熱帯) 気温(20~35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV HS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月28日

調査者名:

要請番号(JL 146-06-0-04)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
シリア	職種 果樹 (コード 106)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	派遣希望期間
	指導科目		<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月
	(現地公用語[アラビア 語]) Fruit Tree		1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
大分類: 農林水産		分野: 水資源管理と効率的な利用	
中・小分類: 農業一般		課題: 水資源の有効活用	
プログラム名: 節水灌漑農業普及			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業農地改革省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform		
	2) 配属先名 (日本語) ナシャビエ灌漑試験場 (現地公用語) Nashabea Irrigation Research Station		
	3) 配属先所在地 首都(ダマスカス)から 東 方向 20 Km 主要都市(ナシャビエ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.0時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナシャビエ灌漑試験場は農業農地改革省、自然資源研究所(ANRR)の付属機関であり、ルーラル・ダマスカス県内の主要農産物(果樹を含む)を対象とした灌漑研究及び研修・普及を担っている。ル県はJICA節水灌漑農業普及計画プロジェクト(技プロ)の対象県の一つであり、同試験場もプロジェクトの実施機関として活動に積極的に参加している。ル県は林檎を始めとする果樹の一大産地であることから、プロジェクトも果樹に関する最適灌漑方法の開発・普及に重点が置かれている		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者はいないが、現在、デウマ中央研究センター配属の土壌肥料隊員がナシャビエ灌漑試験場を積極的に利用しており、同試験場ではJOCV隊員の活動への深い理解を有している。同試験場では、果樹の適正栽培技術の開発と普及に努力しており、JICA節水灌漑農業普及計画プロジェクトとは共同作業を通じて果樹の適正灌漑技術の普及に取り組むなど、隊員の受け入れ体制は整っていると判断できる。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・ルーラル・ダマスカス県の特徴である果樹栽培技術、果樹灌漑技術の向上に協力すること。なお、主な栽培果樹は、リンゴ、アンズ、オリーブ、ブドウ等である。 ・各農家の問題点を把握して、灌漑試験場でのサイト試験を通じて問題解決を図り、各農家に普及すること。 ・具体的な活動としては、自己の専門分野である果樹技術を活かしながらJICA節水灌漑農業普及計画プロジェクトの現地デモ活動に協力して、現地農民とプロジェクトチーム、および試験場スタッフとの調整役を果たすことが期待される。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 果樹栽培に必要な一般的農具、節水灌漑用機器類(JICA節水プロジェクト使用機器以外)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 試験場チーフ以下、15名程度(チーフ他、主要な職員は大卒者)		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> アラビア 語 (レベル:) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒 (果樹栽培) 理由: 業務遂行上必要 ・灌漑) 理由: ・果樹栽培経験 理由: 農家へ技術指導を行う上で必要		
概況	気候(大陸性乾燥気候) 気温(0-40 ℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="checkbox"/>
--------	---

記入日: 平成17年3月13日

調査者名: 野口 拓勇

要請番号(JL 243 - 05 - 0 - 21)		○ JV⇔SV振替可					
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間				
マラウイ	職種 果樹 (コード 106)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月				
	指導科目 (現地公用語[英 語])			派遣希望時期			
	fruit growing			<table border="1"> <tr> <td>JOCV</td> <td>SV/短期等</td> </tr> <tr> <td>1 18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2 18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3 19年度1次隊</td> </tr> </table>	JOCV	SV/短期等	1 18年度2次隊
JOCV	SV/短期等						
1 18年度2次隊	年 月 から						
2 18年度3次隊							
3 19年度1次隊							
大分類:	分野:	プログラム名: 食糧生産向上					
中・小分類:	課題:						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業灌溉食糧保障省 (現地公用語) Ministry of Agriculture, Irrigation and Food Security						
	2) 配属先名 (日本語) チタラ農業試験場 (現地公用語) Chitala Agricultural Research Station						
	3) 配属先所在地 首都(リロングウェ)から 東 方向 70 Km チタラ 主要都市(サリマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)						
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業灌溉食糧保障省は全国11ヶ所に農業試験場を設置し、それぞれの環境に合った作物の栽培技術に関する研究や対象地域に普及と素材の開発に努めている。チタラ農業試験場は高温少湿を生かしマンゴー、柑橘類などの熱帯果樹の栽培に力を入れようとしている。						
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)場内においてマンゴー、柑橘類等の熱帯果樹栽培に関する技術指導が求められる。また、現在チチエ農業試験場(首都リロングウェ近郊)にJICAの専門家(熱帯果樹育苗技術普及)が派遣されており、同専門家と連携を取りながら、熱帯、亜熱帯果樹の接木ならびに苗木生産を中心とした育苗技術の普及に関する協力も求められる。						
	2) 期待される具体的業務内容 ・マンゴー、柑橘類等の熱帯果樹の苗木生産と育苗技術の普及 ・播種、接木、整枝剪定に至るまでの一般的な栽培技術普及 ・対象地域の農民に対する栽培技術の普及 ・JICA専門家との連携協力による熱帯、亜熱帯果樹の接木、苗木生産をはじめとする育苗技術の普及						
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし						
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル テクニカルオフィサー(果樹分野)1名: マラウイ国内のカレッジで農業を専攻した技術者を配置予定		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル:) <input type="radio"/> チチエワ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学) 理由: 技術指導に必要なため						
概地域	気候(サバンナ) 気温(10~30 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし)				
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし)						



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年3月28日

調査者名: 野口 拓勇

要請番号 (JL 243 - 05 - 0 - 22)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
マラウイ	職種 果樹 (コード 106)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語 [英 語]) fruit growing			JOCV SV/短期等
大分類:	分野:	プログラム名: 食糧生産向上		
中・小分類:	課題:			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業灌漑食糧保障省 (現地公用語) Ministry of Agriculture, Irrigation and Food Security			
	2) 配属先名 (日本語) ブンブエ農業試験場 (現地公用語) Bvumbwe Agricultural Research Station			
	3) 配属先所在地 首都(リロングウェ)から 南 方向 350 Km ブンブエ 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(飛行機で約 0.9時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業灌漑食糧保障省は全国11ヶ所に農業試験場を設置し、それぞれの環境に合った作物の栽培技術に関する研究や対象地域に普及する素材の開発に努めている。ブンブエ農業試験場は標高と気候の高さを生かし、マンゴー、柑橘類、グアバ、バナナ、マカダミアナッツなどの熱帯果樹が試験栽培されている。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)場内においてマンゴー、柑橘類、グアバ等の熱帯果樹栽培に関する技術指導が求められる。また、現在チテゼ農業試験場(首都リロングウェ近郊)にJICAの専門家(熱帯果樹育苗技術普及)が派遣されており、同専門家と連携を取りながら、熱帯、亜熱帯果樹の接木ならびに苗木生産を中心とした育苗技術の普及に関する協力も求められる。			
	2) 期待される具体的業務内容 ・マンゴー、シトラス、グアバ等の熱帯果樹の苗木生産 ・播種、接木、整枝剪定に至るまでの一般的な栽培技術普及 ・対象地域の農民に対する栽培技術の普及 ・JICA専門家との連携協力による熱帯、亜熱帯果樹の接木、苗木生産をはじめとする育苗技術の普及			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験圃場			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル シニアテクニカルオフィサー(果樹分野)3名: マラウイ国内のカレッジで農業を専攻しており、年齢は20歳代~40歳代で技術レベルは比較的高い。		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ チチエワ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学) 理由: 技術指導に必要なため			
概地域	気候 (サバンナ) 気温 (10~30. °C位)	電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 (<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月14日

調査者名: 野口 拓勇

要請番号 (JL 243 - 06 - 0 - 02)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
マラウイ	職種 果樹 (コード 106)	○ 新規 ● 交替 4 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語[英 語] fruit growing)		1 19年度1次隊
			2 年度 次隊
			3 年度 次隊
			年 月 から
大分類: 農林水産	分野: 食糧安全保障	プログラム名: 農村生計多様化プログラム	
中・小分類: 農業一般	課題: 食用作物生産力向上		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Food security		
	2) 配属先名 (日本語) ロビ普及所 (現地公用語) Lobi Extention Planning Area		
	3) 配属先所在地 首都(リロングウェ)から 南東 方向 90 Km デッサ州ロビ 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置しており、ADDの下には地方開発事務所(RDP)、さらにRDPには普及所(EPA)が設置されている。EPAではそれぞれの普及員が担当地域の農業技術指導及び統計情報の収集等、広範囲な活動をしている。JOCVは、15年度3次隊で村落開発普及員隊員、17年度1次隊で野菜隊員と果樹隊員が派遣されている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) チーム派遣「ロビ適正園芸技術普及プロジェクト(2006年1月で終了予定)」のフォローアップとして展示圃場における苗木生産、果樹の手入れ、周辺農民への栽培技術普及に関する指導が必要とされている。あわせて野菜隊員、村落開発普及隊員と連携をとりながら、農民組織の強化、活性化のための指導・助言も求められる。		
	2) 期待される具体的業務内容 リンゴ、桃等の温帯果樹、柑橘類、マンゴー、グアバ、バナナ、パパイヤ、アボガド等の熱帯及び亜熱帯果樹の苗木生産、展示圃場の手入れ、樹齢に適した栽培技術の普及が求められる。主な業務は農民への苗木育成に関する技術普及となり、上記樹種における播種から接木、整枝剪定に至るまでの一般的な知識、果樹栽培上の病虫害及び土壌改良に関する知識が求められる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 剪定ばさみ、のこぎり、接木ナイフ、糖度計、展示圃場		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 専門学校卒の果樹専門員1名(静岡県で11ヶ月の長期研修の経験有り)、その他普及所スタッフ13名、展示圃場の労働者13名		6) 業務で使用する言語 ● 英 語 (レベル:) ○ チェワ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学系) 理由: 技術指導実施のため ・ 小型自動二輪以上 理由: 周辺地域への巡回指導実施のため		
概地域	気候(サバンナ) 気温(10~30 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年10月5日

調査者名: 浅野 清隆

要請番号 (JL 261 - 05- 1 - 09)		○ JV⇔SV振替可		調査者名: 浅野 清隆		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
セネガル	職種 果樹 (コード 106)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[仏 語])			2	18年度3次隊	
Arboriculture	3	19年度1次隊				
大分類:	分野:	プログラム名:				
中・小分類:	課題:					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 環境自然保護省森林局 (現地公用語) Ministere de l'Environnement et Protection de la Nature					
	2) 配属先名 (日本語) ンボロ郡事務所 (現地公用語) Service des Eaux et Forets de Nboro					
	3) 配属先所在地 首都(ダカール)から 北東 方向 90 Km ティエス州 ティバワンヌ県 ンボロ郡 主要都市(ティバワンヌ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.4時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ンボロ郡内の環境自然保護を目的として、植林活動、狩猟管理、森林管理などを実施している。 日本の植林無償資金協力によりニャイ地区の砂漠化防止の協力を実施した。 来年度以降、無償資金協力の第2フェーズ(5年間)が予定されている。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 村落部における住民苗畑の推進・運営管理、ンボロ森林局管理苗畑の造成などを実施するに当たり、直接住民のニーズを引き出し、十分なサポートをすることが望まれており、その人材として、協力隊員の派遣要請が出された。					
	2) 期待される具体的業務内容 協力隊員には下記業務が期待されている。 ・村落部を巡回して、柑橘類の接木指導 ・ンボロ森林局管理育苗所の造成・普及指導 ・ンボロ森林局の育苗所においてグループへの果樹栽培指導 ・収入向上のための野菜栽培指導 なお、活動対象村落については、配属先と協議し選定する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長			6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語 (レベル:) <input type="radio"/> ウォロフ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 小型自動二輪以上 理由: 村落を巡回した活動になるため					
概況	気候(ステップ) 気温(15-40 °C位)		電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JVA JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年10月5日

調査者名: 浅野 清隆

要請番号(JL 261 - 05 - 1 - 11)		○ JV⇄SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
セネガル	職種 果樹 (コード 106) 指導科目 (現地公用語[仏 語]) Arboriculture	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月
	派遣希望時期		JOCV 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊
SV/短期等	年 月 日から	プログラム名:	
大分類:	分野:		
中・小分類:	課題:		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業牧畜省農村開発局 (現地公用語) Ministre de l'Agriculture et de l'Elevage		
	2) 配属先名 (日本語) ケベメール県事務所 (現地公用語) Service Departemental du Developpement Rural de Kebemer		
	3) 配属先所在地 首都(ダカール)から 北東 方向 160 Km ルーガ州ケベメール県ケベメール市 主要都市(ルーガ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業の普及・啓発活動、農業に関する調査・統計、農民の組織作り等を行っている。各県レベル毎に2~3名の技官が配置されている。同事務所は、統計課、生産管理課、種子課に分かれており、それぞれに技官1名ずつが配置されている。業務に係る予算は十分でない。同配属先に野菜隊員が活動中である。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同事務所が管轄する県内の村落部には、多数のグループが存在するものの、配属先の人材、予算、資機材の不足により、十分かつ適切な指導が行えていない状況にある。これらのグループ活動を技術的にサポートすることにより、果樹栽培を通じての農村の活性化を支援する人材として協力隊員派遣の要請が出された。		
	2) 期待される具体的業務内容 村落部にある果樹園を巡回して、下記の業務を行うことが期待される。 1. 既存果樹園(マンゴーやレモンなどの柑橘類)における育苗所の実施・促進・運営管理指導 2. 配属先が計画しているアグロフォレストリー園計画に初期の段階から参加し、計画の補助や実施後の接木、定植、剪定、施肥、灌水、病害虫防除など、基本的な部分からの指導を行っていく。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先長(40代、男性) 統計課技官1名、生産管理課技官1名、 種子課技官1名		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語(レベル:) <input type="radio"/> ウォロフ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 小型自動二輪以上 理由:		
概地域	気候(ステップ) 気温(15-45 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年7月11日

調査者名: ルイス 福島

要請番号 (JL 310 - 05 - 1 - 51)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
ボリビア	職種 果樹 (コード 106)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	指導科目 (現地公用語[西 語]) Fruticultura		
		派遣希望時期	
		JOCV	
		SV/短期等	
		1	18年度2次隊
		2	18年度3次隊
		3	19年度1次隊
		年 月 日から	
大分類: 農林水産	分野: 人間の安全保障	プログラム名: 貧困地域飲料水供給プログラム	
中・小分類: 畜産加工	課題: 安全かつ持続的な飲料水供給		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業省 (現地公用語) Ministerio de Servicios y Obras Publicas		
	2) 配属先名 (日本語) サンタクルス県インフラ局 (現地公用語) Direccion de Infraestructura, Prefectura de Santa Cruz		
	3) 配属先所在地 首都(ラパス市)から 東 方向 800 Km サンタクルス県サンタクルス市 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(約 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンタクルス県インフラ局では、現在、直接県内の地下水開発分野の取り組みを行っている。当該分野での技術的な上位機関は公共事業省基礎サービス次官室であり、「基礎サービスセクター戦略の県レベルでの実施」「セクター開発に資するプロジェクトの企画」「セクター規範・規則の県レベルにおける適用」などの役割を担っている。県地下水開発向けの年間予算(2005年)は、US\$624,101。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同県を対象としたわが国無償「第一次地方地下水開発計画」では、1998~2002年の5年間で県内に149本の井戸掘削を行ったが、2004年7月の段階で施設建設が行われていた井戸は全体の93%であった。同県では比較的井戸掘削と施設建設が連動して行われているといえるが、持続的な水利用をより促進するため、わが国は主にソフト面での協力を行ってきた。しかし、衛生教育や水管理委員会の運営向上だけでは持続的な水利用は行えず、各村落の生産性向上も視野に入れた広範な協力が求められている。上記プロジェクトの対象村落では特に柑橘類を中心とした果樹の栽培に携わる村落も多く、現在の生産技術・栽培技術を向上することで持続的な水利用を実現することを目指す。		
	2) 期待される具体的業務内容 -サンタクルス県内の地下水開発計画対象村落や対象市における当該分野の取り組み状況に係るベースラインサーベイ -県基礎サービス課や市、村落の対象者ごとの実習計画の策定及び実施 -実習成果のモニタリング・フォローアップを通じた当該分野の技術向上に関するボリビア側への提言 上述の業務内容は2005年7月時点において想定されるものであり、派遣時点では若干の状況変化もあり得る。このため、ボランティア精神を発揮して、同分野のあらゆる課題について状況に応じた活動が求められる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピューター、机、インターネット、FAX、電話		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル サンタクルス県インフラ局の地下水開発担当職員は50名。指導対象者には、地元の小規模農家や市の担当者も含まれる。		
	6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル: B) ○ 語 (レベル:) * JVは派遣前訓練指定言語をチェック * SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
概況	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学) 理由: 当該分野の専門知識が求められるため		
	気候(熱帯) 気温(28 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="radio"/>
--------	--

記入日: 平成17年12月19日

調査者名: 仲間 和男

要請番号(JL 331 - 06 - 0 - 11)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可							
国名	職種/指導科目 職種 果樹 (コード 106) 指導科目 (現地公用語[西 語]) Fruticultura	区分 (長期のみ) <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 代目	派遣希望期間 <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月						
		派遣希望時期 <table border="1"> <tr> <td>JOCV</td> <td>SV/短期等</td> </tr> <tr> <td>1 18年度2次隊</td> <td rowspan="3">年 月 から</td> </tr> <tr> <td>2 18年度3次隊</td> </tr> <tr> <td>3 19年度1次隊</td> </tr> </table>		JOCV	SV/短期等	1 18年度2次隊	年 月 から	2 18年度3次隊	3 19年度1次隊
JOCV	SV/短期等								
1 18年度2次隊	年 月 から								
2 18年度3次隊									
3 19年度1次隊									
大分類: 農林水産		分野: 貧困対策							
中・小分類: 農業一般		課題: 地域社会開発の推進							
プログラム名: 農漁村開発プログラム									
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家工科大学学校審議会 (現地公用語) Consejo Nacional de Educacion Superior (CONESUP)								
	2) 配属先名 (日本語) ケベド技術大学 (現地公用語) Universidad Tecnica Estatal de Quevedo								
	3) 配属先所在地 首都(キト市)から 南西 方向 237 Km ケベド県ケベド市 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 ? 時間)								
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 短大、学部と修士課程を持つ農牧技術大学。学部では森林、畜産、能楽、農業企業経営の学科を持つ。短大では農学、金融、コンピュータ、農業経営を指導。年間予算は6,700,000米ドル/770,500,000円。								
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 初代隊員が有機農法(堆肥、ボカシ肥料、自然農薬、木酢づくり等)推進プロジェクトを展開し、2代隊員が大学内農場で有機農法の普及推進を継続した。前記の背景を基に、新隊員には以下の点に期待したい。 ①果樹育成に関する新技術の導入。 ②果樹生産に関し、学生、教師、コミュニティー農業生産者への指導・助言を行なう。 ③適切な土壌管理に関する指導・助言を行なう。 前記3点の改善目標に隊員要請を行なった。								
	2) 期待される具体的業務内容 ①果樹生産における生産増加と品質向上に関する指導・助言を学生、教師、コミュニティー農業生産者へ行なう。 ②果樹の遺伝的調査及び研究をし、品質の良い苗木を生産する。 農場敷地面積45Haのうち果樹園は約14Ha。主な果実は柑橘類、マンゴ、アボガド、グアバ、釈迦頭等となっている。カカオ農園は約10Ha。								
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 大学敷地内農場(全面積約45Ha)及び農業機材(トラクター3台、草刈機2台)等。事務業務を行なうための学校備品。								
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 農業技師、男性、30歳、実務経験4年 同僚: 12名、学生100名、コミュニティー農業生産者150名		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン語 語(レベル:) <input type="radio"/> 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力						
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・実務経験3年 理由: 生産者への果樹育成等指導が必要								
概況	気候(熱帯湿潤気候)	気温(20-35℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)						
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)								



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ BS)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度: ×

記入日: 平成18年1月6日

調査者名: 青木佳子

要請番号 (JL 349 - 06 - 0 - 05)		○ JV⇔SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ホンジュラス	職種 果樹 (コード 106)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目			1 18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[西 語])			2 18年度3次隊	
FRUITICULTURA	3 19年度1次隊				
大分類:	分野: 持続的地域開発	プログラム名: 地方における貧困削減			
中・小分類:	課題: 農村部貧困削減				
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Secretaria de Agricultura y Ganaderia				
	2) 配属先名 (日本語) 農業研究財団 (現地公用語) Fundacion Hondurena de Investigacion Agricola(FHIA)				
	3) 配属先所在地 首都(テグシガルパ)から 方向 200 Km インティブカ県 エスペランサ 主要都市(テグシガルパ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3.5時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 小中規模農家に対し、野菜と果樹の栽培に係る技術移転、および研究を行っている非営利団体。農牧省を通して日本政府からの援助を受けている。年間予算はUS\$175,000。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国における野菜、果樹は輸入によるものが多い。貧困農家は地域の特性に適合しないにもかかわらず、トウモロコシと豆のみを栽培している。そのため、土壌と気候に適合した果樹の栽培技術を習得し、収穫する事が出来れば、収入向上につなげることができるものと思われる。貧困削減のために農産物生産向上を目指し、隊員が要請された。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・小中規模農家(150軒)を対象に、現在すでに行われている栽培技術の紹介(リンゴ、桃、アボガド、カリン、洋梨、プラム等)及び実践を行い、普及を目的に巡回指導を行う(インティブカ県だけでなくラパス県、レンピーラ県へも巡回指導を行う可能性あり)。 ・地域の特性を考慮した新しい果物の栽培を提案し、その栽培方法を紹介する(平均気温16℃、最低気温-2℃、最高気温30℃、標高1680m)。 ・年間を通して栽培できる果樹の提案および実践を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル FHIA技師 果樹専門、コーディネーター(経験15年) 男性 45歳 FHIA技師 果樹専門(経験4年) 男性 31歳 FHIA技師 野菜専門(経験5年) 男性 30歳 FHIA技師 野菜専門(経験2年) 男性 26歳				6) 業務で使用する言語 ● ス페인 語(レベル:) ○ 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学系) 理由: 同僚と同等の資格				
概況	気候() 気温(5-20 ℃位)	電気(□安定 ☒不安定 □なし)			
	電話(☒インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	水道(☒安定 □不安定 □なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="radio"/>
--------	--

記入日: 平成16年6月24日

調査者名: 渡辺 和弘

要請番号 (JL 285 - 05 - 1 - 28)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ジンバブエ	職種 組織培養 (コード 107)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 1 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語[英 語])			2	18年度3次隊	
Tissue Culture	3	19年度1次隊				
大分類: 農林水産		分野: 共同体地域及び再入植地域の農業		プログラム名: 農業生産性向上支援		
中・小分類: 農業一般		課題: 農業生産性向上支援				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業地方開発省 (現地公用語) Min.of Agriculture and Rural Development					
	2) 配属先名 (日本語) タバコ研究所 (現地公用語) Tobacco Research Board Kutsaga Research Station					
	3) 配属先所在地 首都(ハラレ)から 方向 0 Km ハラレ 主要都市(ハラレ)までの交通手段及び所要時間()で約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業地方開発省の中にある農業研究所。タバコと牧草の試験の他にジャガイモやバナナ、薔薇、タバコ等の培養に関する研究も行う試験場である。年間予算は約US30,000,000(約324千万円)。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先の業務は植物組織培養によりジャガイモやバナナ、薔薇、タバコ等の優良な品種を増殖生産し、国内の収穫向上を図ることを目的としている。収穫向上に結びつく組織培養に関するより高度な技術の導入と確立が求められており、同時に上記以外の新たな外来植物種の栽培も今後展開していく方向であり、これらの指導・助言を必要としJOCVの要請に至った。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・新しい作物や品種の導入。(ジャガイモ、バナナ、薔薇、タバコ等の他に新たな外来植物の導入) ・品質改良のための技術及び工程管理等の指導。 ・カウンターパートの培養に関する知識や生産に関する技術向上支援。 ・内外で実施される会議への参加、資料の作成。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ラボラトリー、ラミネフローキャビネット(Type:Microflow.Astec)、オートクレーブ、PHメータ、電子レンジ					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Research Officer: 女性1名、30歳代		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル:) <input type="radio"/> 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒(農学系) 理由: 配属先受入条件 ・実務経験3年程度 理由: 配属先受入条件					
概況域	気候(内陸性気候)	気温(5-35 ℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="radio"/>
--------	--

記入日: 平成17年1月26日

調査者名: 大出 理恵

要請番号 (JL 257 - 05 - 0 - 08)		○ JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
ルワンダ	職種 病虫害 (コード 115)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV		
	指導科目			1	18年度2次隊	年 月 から
	(現地公用語 [仏 語])			2	18年度3次隊	
Maladies et Controle des Parasites	3	19年度1次隊				
大分類:	分野: 地域(農村)開発	プログラム名:				
中・小分類:	課題:					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業畜産省 (現地公用語) Ministère de l'Agriculture et des Ressources Animales					
	2) 配属先名 (日本語) 農業生産病虫害予防センター (現地公用語) Unité Production Agricole et Protection des Végétaux					
	3) 配属先所在地 首都(キガリ)から 方向 Km キガリ市 主要都市()までの交通手段及び所要時間(約 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業全体の開発政策とプログラム、戦略遂行と実施にかかる監督を行う機関。また、農業分野にかかわるドナーや組織の調整も行っている。 農業畜産省全体の2005年予算は約2億2千万円。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ルワンダは気候が温暖で降雨量も多く、野菜や果物、花きの栽培が盛んで輸出も行っている。GDPにおける農林漁業の40%、農林漁業の就労人口は労働人口の90%を占めている。内戦による大打撃があったが、94年以降農業生産の確実な回復により、98年には内戦前の水準を回復した。96~2000年のGDP成長率は10%。 さらに今後成長の可能性のある農業経済の発展を促すため、農薬の使用を減らし、Integrated Pest Control(IPM)を導入し、農業生産環境への負荷を抑え、農産物収穫の向上を図ることが必要とされている。農薬の使用を含んだ適正な病虫害予防(植物病理学、または応用昆虫学)に関するスタッフへの技術移転と農家への普及を行うため、今回の要請があった。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・普段はキガリ市農業畜産省の事務所に勤務し、必要に応じて各県、郡レベルにある出先事務所に省庁の同僚と出向き、現地のスタッフや農民に対して、技術指導を行う。 ・対象作物は、米、メイズ、キャッサバ、ジャガイモ、豆類だが特にパッションフルーツの病虫害として報告されているウィルスのPassion Fruit Woody Virus, Brown Spot DiseaseのAlternaria Passiflora, Septuria Spot DiseaseのSepturia Passifloricoraなどの病虫害に対して、スタッフへの技術移転と農家への普及が要望されている。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 巡回のための車両					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業生産・病虫害予防ユニットのスタッフ、および地域農業技術者、農業関係NGO、農業共同組合、有機肥料輸入者、農民ほか		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> フランス 語 (レベル:) <input type="radio"/> キニャルワンダ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力			
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・大卒 理由: 職場のスタッフと同等の学歴が必要 ・実務経験 理由: 病虫害の簡単な判断ができることが必要					
概地域	気候(熱帯性気候) 気温(15-35 ℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S)

短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月22日

調査者名: 奥平 博明

要請番号 (JL 310 - 06 - 0 - 23)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
ボリビア	職種 病虫害 (コード 115)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目 (現地公用語[西 語])			派遣希望時期
	Control de Enfermedades y Plagas			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野: 生産力向上	プログラム名: 生産連鎖/地域開発		
中・小分類: 農業一般	課題: 生産連鎖開発、地方経済活性化			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Ministerio de Asuntos Campesinos y Agropecuarios			
	2) 配属先名 (日本語) 農業促進センター(CEPAC) (現地公用語) CEPAC (Centro de Promocion Agropecuaria Campesina)			
	3) 配属先所在地 首都(ラパス)から 東 方向 800 Km サンタクルス市 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(で約 0 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ボリビア第2の都市サンタクルス市近郊の農村地帯(イチロ郡など)を舞台に、農業を中心とした地域開発に取り組んでいる NGO。年間予算600千ドル。JICAとの関係も深く、本年はコーヒー栽培プロジェクトが実施された。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では地元のGabriel Rene Moreno 大学の協力を仰ぎ、同大学の検査センターで、活動地域の農産物の疫病対策の一環として、各種の検査を行っている。大学の学生が協力しているが、いずれも短期間で研修を終えてしまうため、支障をきたしている。長期間にわたり従事することが可能なボランティアの援助が求められている。			
	2) 期待される具体的業務内容 配属先スタッフと協力して、下記業務にあたる。 ・地域農産物の病虫害検査 ・疫病対策、疫病防止策のアドバイス			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種検査機器			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性ひとり、女性ひとり 計2名。大学関係者は研究者、学生。		6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 業務上必要な知識			
概況	気候 (亜熱帯湿潤気候) 気温 (25 ℃位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV HS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="checkbox"/>
--------	---

記入日: 平成17年12月22日

調査者名: 中野 照人

要請番号(JL 334 - 06- 0 - 02)		<input type="radio"/> JV⇔SV振替可		派遣希望時期	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	JOCV	SV/短期等
エルサルバドル	職種 病虫害 (コード 115) 指導科目 (現地公用語[西 語]) Control de enfermedades y plagas	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊	年 月 から
	大分類:	分野: 経済の活性化と雇用拡大	プログラム名: 地方開発戦略支援		
中・小分類:	課題: 地方振興				

配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA
	2) 配属先名 (日本語) ロベルト・キノネス国立農業学校 (現地公用語) ESCUELA NACIONAL DE AGRICULTURA "ROBERTO QUINONES"
	3) 配属先所在地 首都(サンサルバドル)から 西 方向 33.5 Km ラ・リベルタ県コロン市 主要都市(コロン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1956年に創立した国内随一の農業学校。農業、牧畜等の幅広い分野での総合的農業教育を実施しており、レベルは3年制の農業高等専門学校に相当。生徒数は約100名。午前中に147haの農場を利用した実習、午後は学科中心の授業が進められている。2006年予算は約100万USDルを見込んでいる。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) エルサルバドルにおいては過度の化学農薬散布に伴い、農民の健康問題から害虫の抵抗性発達といった多くの問題が生じてきており、化学農薬の使用量を減らす(減農薬)必要性に迫られている。また農作物を病虫害から防除する際、薬剤を選択するときに対象とする被害が昆虫か病気かどうか、昆虫なら何の害虫かわかるようにしなければならない。そのため、将来的に考えて今後、エルサルバドルの農業を担う生徒たちに農薬の使用量をできるだけ少なくした農法技術、環境問題も含めた持続可能な農業をこの国に定着させることを目的として青年海外協力隊員が活動中であるが、引き続きその後任隊員の要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先が期待している具体的内容は下記のとおり。 1. 生徒を対象とした、病虫害のレベルで分類ができるように主に実習を通じて支援する。 2. 教諭を対象に減農薬、有機農法や自然農法に対する研修会を実施する。 3. 隊員の視点からエルサルバドルの農業の問題を分析し、より効果的な授業カリキュラム作成の為の助言を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 昆虫学実験室、昆虫標本、昆虫採集および標本作成用具(日本製)	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 16名、農業技師16名、30~50歳代	6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> スペイン 語(レベル:) <input type="radio"/> 語(レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	.	
概況	気候(サバナ) 気温(20~35 °C位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ HS)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: ×
--------	---------------

記入日: 平成17年12月22日

調査者名: シリア事務所

要請番号(JL 146 - 06 - 0 - 05)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間
シリア	職種 土壤肥料 (コード 116) 指導科目 (現地公用語[アラビア 語]) Soil and Fertilizer	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月
	派遣希望時期		年 月 から
大分類: 農林水産		分野: 水資源管理と効率的な利用	
中・小分類: 農業一般		課題: 水資源の有効活用	
プログラム名: 節水灌漑農業普及			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業農地改革省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform		
	2) 配属先名 (日本語) デウマ中央研究センター (現地公用語) Douma Central Research Station		
	3) 配属先所在地 首都(ダマスカス)から 東 方向 10 Km. ダマスカス 主要都市(ダマスカス)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) デウマ中央研究センターは、農業農地改革省、自然資源研究所(ANRR)の付属機関であり、全国の付属試験所の研究指導や情報の管理などを担っている。特に土壤実験部門には、専属の実験場を有し、各種の土壤化学・物理試験を実施している。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は、主配属先であるデウマ中央研究センターで土壤実験を行いながら、Nashabea Irrigation Stationでさまざまな栽培試験も手掛けている。ナス、レタスのマルチ栽培実験では高い灌漑節水効果を実証しており、関係者から高い評価を受けている。前任者の各活動は、JICA節水灌漑農業普及計画プロジェクト(技プロ)と共同作業を通じて行われたもので、今後も同プロジェクトとの連携活動が強く望まれている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・前任者の業績を評価した上で、これまでの対象テーマをさらに継続的に深めていくこと。 ・引き続きJICA節水灌漑農業普及計画プロジェクトの現地デモ活動に協力すること(同プロジェクト地域3県: ハマ県、ダラア県、ルーラル・ダマスカス県のそれぞれを対象に、土壤分野においてデモンストレーション活動に参画していくこと)。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 土壤試験・分析に必要な一般的試験機器、農作物栽培に必要な農具類		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 試験場チーフ以下、10名程度(チーフ他、主要な職員は大卒者)		6) 業務で使用する言語 ● アラビア 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (栽培土壤 理由: 業務遂行上必要) ・ 畑地灌漑) 理由: ・ 野菜栽培経験 理由: 農家へ技術指導を行う上で必要		
概地域	気候(大陸性乾燥気候) 気温(0-40 ℃位)	電気(□安定 ☒不安定 □なし)	水道(□安定 ☒不安定 □なし)
	電話(☒インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし)		



平成 18 年度 春 募集 ボランティア 要望 調査 票
 長期 (JOCV 日青 SV ES)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成18年1月5日

調査者名: 藍 澤 ゆかり

要請番号(JL 241 - 06 - 0 - 09)		○ JV⇔SV振替可			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
マダガスカル	職種 土壤肥料 (コード 116)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目			1 18 年度 2 次隊	年 月 から
	(現地公用語[仏 語]) Fertilisation et Etude du Sol			2 18 年度 3 次隊	
			3 19 年度 1 次隊		
大分類:		分野: 農業		プログラム名: 農業生産性向上プログラム	
中・小分類:		課題: 持続可能な農業開発			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農水省 (現地公用語) Ministere de l' Agroculture, de l' Elevage et de la Peche				
	2) 配属先名 (日本語) アヌシプリプリ種子増殖センター (現地公用語) C.M.S. d' Anosyboribory				
	3) 配属先所在地 首都(アンタナナリブ)から 北東 方向 270 Km. アロチャマングル県アンボラザカ市 主要都市(アンタナナリブ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マダガスカル農業・牧畜・水産省は、食糧生産全般を担当しているが、主食の米の生産量増加および生産多様化が政策課題である。アロチャ・マングル県はマダガスカル最大の湖を有し、周辺地域は大穀倉地帯となっている。農業・畜産・水産省は同地域を農業生産向上のために重視している。また、地方開発支局および種子増殖センター等に、日本の援助が入っている。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 本プログラムは、マダガスカル国別援助重点分野のひとつである「農村振興プログラム」に位置づけられる。現在、農業・畜産・水産省にはJICA専門家(農業行政アドバイザー)が配置され、アロチャ湖南西地域には開発調査(アロチャ湖南西部流域管理及び農村開発計画調査)、種子増殖センターにはインドネシア人短期専門家(稲作、適正農業機械)も活躍している。また、低コスト、入手可能な材料による肥料の開発が求められている。種子増殖センターでは試験栽培はおこなっているものの、データ収集分析の方法が確立していない。このような状況の中、今後は隊員の農業・村落開発グループ要請を開始し、より効果的な協力活動を目指すため隊員要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 試験研究機関の代わりとなる農業省管轄の種子増殖センター(C.M.S.)で実施している稲の試験栽培のデータ収集および分析により、一般農民へ普及すべき技術の検討を行う。同配属先に要請される食用作物・稲作隊員と連携した活動が可能。 ・土壌分析、および現在配属先が実施している実験データの収集と分析 ・実験データをもとにした普及すべき有機肥料作成技術の確定 ・作成された有機肥料の農民への適切な使用法の普及 上記の活動をセンター職員とともに実施する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農業機械、データ収集用の備品(秤、水分計、メジャーなど)は現在なし、PC(日本語不可)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長 農業技術者(公務員)数名 アシスタント数名		6) 業務で使用する言語 ● フランス 語 (レベル:) ○ マダガスカル 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 (農学系) 理由: データ収集分析の知識が必要				
概地域	気候(温暖) 気温(10~30℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV HS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年12月27日

調査者名: 酒井 晋

要請番号 (JL 331 - 06 - 0 - 04)		○ JV⇔SV振替可				
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
エクアドル	職種 土壤肥料 (コード 116)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		SV/短期等
	指導科目			1	18年度2次隊	
	(現地公用語 [西 語])			2	18年度3次隊	
Suelos y Fertilizantes			3	19年度1次隊	年 月 から	
大分類: 農林水産		分野: 貧困対策		プログラム名: 農漁村開発プログラム		
中・小分類: 農業一般		課題: 地域社会開発の推進				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) マチャチ市役所 (現地公用語) Municipio de Machachi					
	2) 配属先名 (日本語) マチャチ市役所 (現地公用語) Municipio de Machachi					
	3) 配属先所在地 首都 (キト) から 南 方向 40 Km マチャチ市 主要都市 (キト) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 1.5時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況 (含むJICA専門家、ボランティア) マチャチ市役所は首都キトに隣接メヒア郡を管轄している。メヒア郡の人口は73,000人でマチャチ市は27,000人である。現在、同市役所の公共サービス課に環境教育で隊員が1名配属されている。公共サービス課では飲料水管理、上下水道管理、廃棄物処理、公園・庭園管理、水力発電、市場管理等を担当している。役所全体の年間予算はUS\$6,168,629で、内公共サービス課の予算はUS\$1,311,049である。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況 (プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、同役所公共サービス課において環境教育の隊員が1名活動している。同隊員の活動は同市の廃棄物処理方法を改善させることであり、活動の一環において、外務省の草の根無償資金援助による廃棄物処理施設の申請を市役所と行い、これが承認された。現在廃棄物処理施設の建設は進められており、この施設で分別された有機物を肥料にしメヒア郡の農家および当役所管理下にある公園や街路樹の土として還元する計画を立てている。廃棄物処理施設建設予定地に50㎡、有機廃棄物を発酵・腐熟させ堆肥にするスペースも隣接して100㎡確保できている。市役所には土壌・肥料に関する知識を持った人材がいなかったため、当要請につながった。					
	2) 期待される具体的業務内容 ボランティアはマチャチ市役所公共サービス課において以下の業務を担当する。 1. 廃棄物処理施設において市職員に対し堆肥作りのための指導を行う。 2. メヒア郡の農家に対し堆肥の啓蒙・普及および使用方法を指導する。 3. 堆肥作り、販売、農家指導の一連の工程に関し助言を行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 マチャチ市役所公共サービス課事務所、リサイクルセンター施設					
	4) 配属先スタッフ・同僚 (男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 市役所公共サービス課職員技術担当1名 現場作業員14名				6) 業務で使用する言語 ● ス페인 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件 (資格、免許、性別) 及びその理由 ・ 農学部卒 理由: 市役所職員、現場作業員への指導があるため					
概地域	気候 (標高2900m)	気温 (10-25 ℃位)	電気 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	電話 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		
			水道 (<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票
 長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 現職教員特別参加制度:

記入日: 平成16年12月8日

調査者名: 池田博司

要請番号(JL 364 - 05- 0 - 03)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
パラグアイ	職種 土壌肥料 (コード 116)	○新規 ○交替 3 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[西 語]) Suelos y Fertilizantes			JOCV SV/短期等
大分類:	分野: 貧困層への社会サービスの充実と収入の維持向上	プログラム名: 農業生産技術の教育、農産物の多様化・付加価値化支援、大土地所有者等・日系農協等大農協との連携を深めた小農の		
中・小分類:	課題: 貧困層(小農)の生産基盤・技術の強化と基礎的サービスの充実			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura y Ganaderia			
	2) 配属先名 (日本語) コンセプション農業学校 (現地公用語) Escuela Agricola de Concepcion			
	3) 配属先所在地 首都(アスンシオン市)から 北 方向 417 Km コンセプション県コンセプション市 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) コンセプション農業学校は、農業技術者の育成を目的として1938年に創立された全寮制男子校である。総敷地面積は300haで、年齢15歳以上の生徒約115名に対し、教員10名、技師11名、非常勤10名の職員31名体制で学校を運営している。主に、農業一般、畜産、農業機械分野の授業を実施しており、実習時間も十分に設けられている。予算は、農牧省教育局が管理しており、そのほとんどが人件費に充当されている。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同学校は、前任者を含め隊員2代の継続した派遣により、当国北部地方で数少ない土壌分析機関となりつつある。前任者は、当校卒業生であるカウンターパートに土壌分析技術の習得に係る支援を行ったが、分析の全過程を単独で遂行するレベルには至っていないこと、及び配属先の強い要望もあり後任隊員の派遣が要請された。また、後任となる隊員は技術協カプロジェクト「パラグアイ農業総合試験場(CETAPAR)」が実施している国内の統一的な土壌分析法の確立を目的とした協議会に参加することにより、同校の土壌分析分野の更なるレベルアップに寄与することが期待されている。			
	2) 期待される具体的業務内容 農家から月に15件程度の土壌分析依頼があり、pH、有機物(ウォークリー・ブラック法)、リン(トウルオーグ法)、カリウム、カルシウム・マグネシウム・アルミニウム(滴定法)などの分析を同僚職員とともに実施し、基本的な土壌分析診断書及び処方箋を作成し、土壌改良手法を指導する。最終学年(約40名)の生徒に対して週2回の土壌分析に関する実習授業を同僚教員とともに担当する。また、近隣の小規模農家5戸を対象に生産性向上に資する適正な肥料・堆肥施用方法及び土壌管理などについての巡回指導を実施する。基本的な活動時間は、午前は7:00から11:00まで、午後は13:00から17:00までであり、分析作業の都合により活動時間の延長もある。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 土壌分析室(面積約70m ²)、吸光分析器、乾燥機、秤量器、攪拌機、pHメーター、ウォーターバス、遠心分離機、分析用器具(フラスコ、ピーカー、メスシリンダー、ピペット、試験管)、土壌分析用試薬。			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先教員: 30~40歳代の教諭10名。 同僚職員: 22歳の同学校卒業生である助手1名。		6) 業務で使用する言語 ● 西 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 男性 理由: 全寮制男子校であるため。 ・ 大卒(農学系) 理由: 土壌分析技術指導が求められるため。			
概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (● JOCV ○ 日青 ○ SV ○ 日S)
 短期 (○ JV_A ○ JV_B ○ SV_A ○ SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年8月23日

調査者名: 一柳直仁

要請番号 (JL 379 - 05 - 1 - 26)		○ JV⇄SV振替可			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
ベネズエラ	職種 土壤肥料 (コード 116)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV	
	指導科目			1 19年度1次隊	年 月 から
	(現地公用語[西 語])			2 18年度3次隊	
Suelos y Fertilizantes	3 年度 次隊				
大分類: 農林水産	分野: 社会セクター	プログラム名: 人間開発支援			
中・小分類: 農業一般	課題: BHNの充足				
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・土地省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura y Tiera				
	2) 配属先名 (日本語) 村落開発事業団ティモテ (現地公用語) Oficina de Timotes de CIARA				
	3) 配属先所在地 首都(カラス)から 方向 Km 主要都市()までの交通手段及び所要時間(約 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) CIARAは38年の歴史を持ち、ベネズエラ全国で村落の農業を中心に地域の人々の知識と技術の向上を目的に活動する村落農業開発事業団。全州に事業所を持ち、更に各州の郡部に事務所があり、地方自治体と連携している。ティモテ支所ではティモテ市と連携し、2人の推進員がセミナー等を通して農業関連の人的開発にあたっている。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) メリダ州のこの地区はベネズエラで有数の野菜の生産地であり、農産物はベネズエラ全土に供給されている。現在野菜栽培に必要な肥料の多くは化学肥料であり、また、農業生産活動で生じる不要物の70%は有機肥料の材料である。有機肥料による有機栽培、環境破壊の抑制やゴミの処理にかかる費用の節減を実現したい。不要物の野菜ゴミ等を利用し、有機肥料として活用したいと考えており、指導を期待する。ティモテ市は全面的に協力する。				
	2) 期待される具体的業務内容 具体的業務内容 1 有機肥料の作り方および有効な利用法の指導 2 農家への土壌改良指導および、有機農法の有用性の広報 技術の範囲 1 有機肥料の作り方知識および経験 2 野菜栽培の知識				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 共同の執務室、パソコン、TV、ビデオ、プロジェクター、				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル メリダ州事務所長: ヘスス ケニオネス 農業開発担当官: グラルド ロハス 普及員: ホルヘ オクタビオ ロンドン 建築家 38歳 普及員: ヘスス ラモン マルチネス				
6) 業務で使用する言語 ● スペイン 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力					
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大学卒 理由: 同僚は高学歴 ・ 実務経験2年 理由: 即戦力を期待				
概地域	気候(温帯) 気温(24 °C位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度: X

記入日: 平成17年12月14日

調査者名: 野口 拓勇

要請番号 (JL 243 - 06 - 0 - 03)		○ JV⇔SV振替可	
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望時期
マラウイ	職種 農業土木 (コード 120)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	派遣希望期間
	指導科目 (現地公用語 [英 語]) agricultural engineering		<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月
	派遣希望時期		JOCV SV/短期等 1 18年度2次隊 2 18年度3次隊 3 19年度1次隊 年 月 から
大分類: 農林水産	分野: 食糧安全保障	プログラム名: 灌漑農業振興プログラム	
中・小分類: 農業土木	課題: 食用作物生産力向上		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業食糧安全保障省 (現地公用語) Ministry of Agriculture and Food security		
	2) 配属先名 (日本語) ムジンバ地方開発事務所 (現地公用語) Mzimba Rural Development Project		
	3) 配属先所在地 首都 (リロングウェ) から 北 方向 80 Km ムジンバ 主要都市 (ムジンバ) までの交通手段及び所要時間 (約 0 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置しており、ADDの下には地方開発事務所(RDP)、さらにRDPには普及所(EPA)が設置されている。ムジンバRDPは21箇所のEPA(普及所)を傘下に持ち、技術スタッフと傘下のEPAの普及員が担当地域の農民に対して農業指導を行っている。年間予算はRDP全体で約600万マラウイクワチャ(日本円で600万円相当)。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ムジンバRDPでは灌漑事業による農産物の収穫量増加を目指している。しかし、RDPには灌漑分野において十分な知識を持ち合わせた技術者が配置されていないため、独自で計画立案及び施工管理を実施することができない。現在RDPの灌漑部には2名の専門職員がいるものの、経験及び技術力とも十分とは言えず、彼らの育成ならびにRDPが推進する小規模灌漑プロジェクトの実施に際し、助言及び指導が求められていることから、今回の要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・灌漑事業の実施に伴う測量及び設計業務 ・灌漑事業の実施に伴う施工管理業務 ・灌漑部の職員の育成に関する指導・助言 ・小規模灌漑普及可能な地区の調査		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 レベル2台とスタッフ、巻尺等の測量に必要な備品		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑部2名: 男性1名、女性1名(両者とも国内の農業系専門学校卒) 技術レベル: 農業分野一般に関する知識は持ち合わせているものの、測量及び設計を単独で実施できる能力は持ち合わせていない。		6) 業務で使用する言語 <input checked="" type="radio"/> 英 語 (レベル:) <input type="radio"/> トウンブカ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・実務経験2年以上 理由: 灌漑技術に関する指導・助言を実施するため ・小型自動二輪以上 理由: 周辺地域への巡回指導実施のため		
概況	気候 (サバンナ) 気温 (10~30 ℃位) 電気 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話 (<input type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> なし) 水道 (<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV BS)
 短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	現職教員特別参加制度: <input checked="" type="radio"/>
--------	--

記入日: 平成16年12月2日

調査者名: 下藤 実

要請番号 (JL 251 - 05 - 0 - 03)		○ JV⇔SV振替可				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
モザンビーク	職種 農業土木 (コード 120)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV		SV/短期等
	指導科目 (現地公用語[ボルトガル 語]) Irrigaçao			1 18年度2次隊	2 18年度3次隊	
大分類: 農林水産		分野: 農業		プログラム名: 地域農村開発プログラム		
中・小分類: 農業土木		課題: 小規模農家の市場へのアクセス拡大				
配属概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura					
	2) 配属先名 (日本語) イニャンバネ州局 (現地公用語) Direcção Provincial da Agricultura e Desenvolvimento Rural de Inhambane					
	3) 配属先所在地 首都(マプト)から 北東 方向 465 Km イニャンバネ州マシシ 主要都市(イニャンバネ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.0時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) イニャンバネ州における農業・農村開発計画作成・監理、森林、自然保護、農民に対する行政指導、生活改善など巡回指導を通して行っている。総務課、経理課、畜産課、普及課、森林・自然保護課からなり、年間予算は、USD400万(約4億円)。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) イニャンバネ州は、美しい海岸線を持ち、南ア等からの観光客が多く訪れる地域である一方、それ以外の地域は開発が遅れ、最も貧しい地域の一つと言われている。農業・農村開発省では、伝統的農法で暮らす地元住民の所得向上や生活改善、女性の企業起こしなどに積極的に取り組んでいる。しかし、普及員は、中級レベル(高卒)の人が多く、新しい技術の紹介や情報の提供が進んでいないことから、新しい視点に立って貧困対策に取り組み、零細農民の組み合い活動活性化や女性の企業起こしに協力できる隊員の要請となった。					
	2) 期待される具体的業務内容 農業・農村開発省イニャンバネ州局では、国道1号線沿いのモルンベネ郡、ジャンガモ郡の農業生産拡大に力を入れており、女性農民の組織化に協力しているNGO団体などと連携し、所得向上、生活向上を目指している。 1. モルンベネ、ジャンガモ郡の灌漑地域の状況を調査し、排水路の整備や農地の区分けについて助言するとともに必要ならば補修工事などを実施する。 2. 小規模灌漑が可能な土地について助言し、農地の整備や灌漑施設の運用に協力する。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農業普及員数名(高卒、20~40歳) 指導対象者: 農業普及員、農民				6) 業務で使用する言語 ● ボルトガル 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 高卒レベルの普及員を指導するため ・ 実務経験3年 理由: 経験のある普及員を指導するため ・ 小型自動二輪以上 理由: 巡回指導を行うため					
概況	気候(熱帯性気候) 気温(18-34 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成18年度春募集ボランティア要望調査票

長期 (JOCV 日青 SV 日S)

短期 (JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

現職教員特別参加制度:

記入日: 平成17年4月15日

調査者名: 下藤実調整員

要請番号(JL 251 - 05- 1 - 01)		○ JV⇔SV振替可		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望期間	
モザンビーク	職種 農業土木 (コード 120)	○新規 ○交替 2代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	
	指導科目			派遣希望時期
	(現地公用語[ポルトガル 語]) Hidraulicaagricola			JOCV SV/短期等
大分類: 農林水産	分野: 農業	プログラム名: 地域農村開発プログラム		
中・小分類: 農業土木	課題: 小規模灌漑の導入促進			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 (現地公用語) Ministerio de Agricultura			
	2) 配属先名 (日本語) ガザ州シフト郡事務所 (現地公用語) Direcção Distrital de Agricultura de Chibuto			
	3) 配属先所在地 首都(マプト)から 北東 方向 250 Km ガザ州シフト 主要都市(シャイシャイ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.0時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) シフト郡における農業、畜産、農村開発の指導、動植物の管理、環境保全などを行っている。職員数は、常勤・非常勤あわせて約70名。年間予算は、約36,000USD(約396万円)。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同事務所には、平成15年12月に前任者が派遣され、活動中である。ガザ州では、農業土木技師が州内に1名しかおらず、灌漑の知識を持った技師も少ないことから、2000年の大洪水に見舞われた農地や壊れた灌漑設備の補修が進んでいなかった。同隊員が担当した地域は、その指導により小規模灌漑を整備し農地の拡大を図り、WFP(世界食糧計画)との連携協力も行われ、農民組合などが積極的に働くようになった。このようなことから、同隊員は1年延長し、そのプロジェクト継続に後任の要請が出たものである。			
	2) 期待される具体的業務内容 ガザ州シフト郡内の前任者のプロジェクトを補完すると共に早魃が進んでいる地域の調査や小規模灌漑によるモデル圃場作りに協力する。 1. 適正技術による小規模灌漑の工事及びデモンストレーションの実施。 2. 水田を利用した稲作の普及を目指して用排水路の補修や灌漑地の拡大を行う。 3. WFPとの連携協力による水路補修工事などのプロジェクトを企画立案する。 4. 早魃の被害が進んでいる地域の専門的調査の実施。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、測量機材、工具類			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 上司: 30歳代(キューバ、日本にて研修経験あり) 指導対象者: 普及員、農民(組合員)男女		6) 業務で使用する言語 ● ポルトガル 語 (レベル:) ○ 語 (レベル:) *JVは派遣前訓練指定言語をチェック *SVは選考試験指定言語をチェックし、レベルを入力	
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 ・ 大卒 理由: 普及員を指導する立場になるため ・ 実務経験3年 理由: 普及員を指導する立場になるため ・ 小型自動二輪以上 理由: 巡回指導を行うため			
概地域	気候(亜熱帯性気候) 気温(20-40 ℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			